



滋賀県立大学
平成29（2017）年度
講義概要（シラバス）

※この冊子は、Web版シラバスをPDFに変換したものです。文字数の関係で全ての情報が記載されない場合があります。最新の情報や全文は、県大ポータル USPo (<https://sgkwe.office.usp.ac.jp/SGKWeb/>) で、ご確認ください。

目 次

1800020	異文化接触論/ 吉村 淳一 前期	・ ・ ・	1
1800040	現代生活論 細馬 宏通 後期	・ ・ ・	3
1810030	アジア考古学 B 定森 秀夫 後期	・ ・ ・	5
1810070	環琵琶湖地域論 B 水野 章二 後期	・ ・ ・	7
1810090	環琵琶湖保存修景計画論 A 濱崎 一志 前期	・ ・ ・	9
1810100	環琵琶湖保存修景計画論 B 石川 慎治 後期	・ ・ ・	11
1810130	現代中国特論 B 横田 祥子 後期	・ ・ ・	13
1810160	社会学特論 B 武田 俊輔 前期	・ ・ ・	15
1810200	女性史・ジェンダー論 B 京樂 真帆子 後期	・ ・ ・	17
1810230	地域産業論 B 塚本 礼仁 後期	・ ・ ・	19
1810260	地域文化遺産調査・情報論 濱崎 一志 前期	・ ・ ・	21
1810270	地域文化学特別演習(地域・1年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	23
1810280	地域文化学特別演習(地域・2年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	25
1810290	地域文化学特別研究(地域・1年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	27
1810300	地域文化学特別研究(地域・2年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	29
1810310	中国文化史特論 辻 正博 前期集中	・ ・ ・	31
1810320	朝鮮史特論 A/ 河 かおる 前期	・ ・ ・	33
1810330	朝鮮史特論 B/ 田中 俊明 前期	・ ・ ・	35
1810340	トランス・ヒマラヤ文化論/ 棚瀬 慈郎 前期	・ ・ ・	37
1810370	日本考古学 B 定森 秀夫 前期	・ ・ ・	39
1810380	日本生活文化論 市川 秀之 前期	・ ・ ・	41
1810410	美術史特論 B 亀井 若菜 後期	・ ・ ・	43
1810430	北東アジア地域史 B 地藏堂 貞二 後期	・ ・ ・	45
1810450	モンゴル・ディアスポラ論 A/ Borjigin Burensain 前期	・ ・ ・	47
1810460	モンゴル・ディアスポラ論 B/ 島村 一平 後期	・ ・ ・	49
1810490	対外文化交流特論 B 田中 俊明 前期	・ ・ ・	51
1810500	応用言語学特論 A 小栗 裕子 後期	・ ・ ・	53
1810510	応用言語学特論 B Martin Hawkes 前期	・ ・ ・	55
1810520	英語詩学特論 John Rippey 後期	・ ・ ・	57
1810530	日英対照言語学特論 小熊 猛 後期	・ ・ ・	59
1810540	英文学特論 山本 薫 前期	・ ・ ・	61
1810550	国際文化論特講 A 吉村 淳一 前期	・ ・ ・	63
1810570	国際文化論特講 C 棚瀬 慈郎 前期	・ ・ ・	65
1810580	国際文化論特講 D Borjigin Burensain 前期	・ ・ ・	67
1810590	国際文化論特講 E 島村 一平 後期	・ ・ ・	69
1810600	国際文化論特講 F 河 かおる 前期	・ ・ ・	71
1810610	国際文化論特講 G 地藏堂 貞二 後期	・ ・ ・	73
1810620	国際文化論特講 H 呉 凌非 後期	・ ・ ・	75
1810630	地域文化学特別演習(国際・1年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	77
1810640	地域文化学特別演習(国際・2年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	79
1810650	地域文化学特別研究(国際・1年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	81
1810660	地域文化学特別研究(国際・2年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	83
1820045	生活デザインプロジェクト演習 専攻教員 後期	・ ・ ・	85
1820050	生活文化学特別演習(デザイン・1年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	87
1820060	生活文化学特別演習(デザイン・2年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	89
1820070	生活文化学特別研究(デザイン・1年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	91
1820080	生活文化学特別研究(デザイン・2年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	93
1820105	道具デザイン特論 A 面矢 慎介 前期	・ ・ ・	95
1820115	道具デザイン特論 B 印南 比呂志 後期	・ ・ ・	97
1820117	道具デザイン特論 C 南 政宏 前期	・ ・ ・	99
1820135	服飾デザイン特論 A 森下 あおい 前期	・ ・ ・	101
1820136	服飾デザイン特論 B 横田 尚美 後期	・ ・ ・	103
1820137	マーケティング特論 山田 歩 前期	・ ・ ・	105
1820160	栄養機能科学特論 吉田 宗弘 前期集中	・ ・ ・	107
1820170	栄養教育特論 廣瀬 潤子 前期	・ ・ ・	109
1820180	栄養制御論 未定* 後期	・ ・ ・	111
1820200	健康運動学特論/ 中井 直也 後期	・ ・ ・	113
1820205	分子運動栄養学特論 中井 直也 後期	・ ・ ・	115
1820210	行動学特論 細馬 宏通 前期	・ ・ ・	117
1820220	児童健康問題特論 奥村 万寿美 前期	・ ・ ・	119
1820230	小児医学特論 多賀 崇 前期集中	・ ・ ・	121
1820235	住環境デザイン特論 A 宮本 雅子 前期	・ ・ ・	123
1820236	住環境デザイン特論 B 藤木 庸介 前期	・ ・ ・	125
1820237	住環境デザイン特論 C 佐々木 一泰 後期	・ ・ ・	127
1820245	栄養疫学特論 今井 絵理 前期	・ ・ ・	129
1820270	食文化特論 堀越 昌子 前期集中	・ ・ ・	131
1820280	生活文化学特別演習(健康栄養・1年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	133
1820290	生活文化学特別演習(健康栄養・2年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	135
1820300	生活文化学特別研究(健康栄養・1年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	137
1820310	生活文化学特別研究(健康栄養・2年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	139
1820362	教育制度論特講 杉浦 由香里 後期	・ ・ ・	141
1820392	社会学特講 B 丸山 真央 前期	・ ・ ・	143
1820400	生活文化学特別演習(人間関係・1年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	145
1820410	生活文化学特別演習(人間関係・2年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	147
1820420	生活文化学特別研究(人間関係・1年次) 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	149

1820430	生活文化学特別研究（人間関係・2年次）専攻教員 通年研究	・ ・ ・	151
1820440	比較行動論特講 細馬 宏通 前期	・ ・ ・	153
1820441	フィールド心理学特講 松嶋 秀明 後期	・ ・ ・	155
2930010	日本・地域文化論特別演習 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	157
2930020	日本・地域文化論特別研究 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	159
2930030	アジア・地域文化論特別演習 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	161
2930040	アジア・地域文化論特別研究 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	163
2930050	考現学・保存修景論特別演習 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	165
2930060	考現学・保存修景論特別研究 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	167
2930070	生活デザイン論特別演習 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	169
2930080	生活デザイン論特別研究 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	171
2930090	健康栄養論特別演習 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	173
2930100	健康栄養論特別研究 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	175
2930110	人間関係論特別演習 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	177
2930120	人間関係論特別研究 専攻教員 通年研究	・ ・ ・	179
2930130	研究方法特論 専攻教員 通年集中	・ ・ ・	181
2930140	リサーチ・ワークショップ 専攻教員 通年集中	・ ・ ・	183

講義名	異文化接触論/							担当教員	吉村 淳一
講義コード	1800020	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

この授業では言語接触によってドイツ語がどのように変化してきたかについて概観する。その際に、音韻・形態・統語・意味などさまざまなレベルでの言語変化を対象とし、いくつかの具体的な事象を取り上げる。さらにそれらに関する研究例を通じて言語学的アプローチの仕方を学ぶ。

到達目標

(1) 言語現象を様々なレベルで分析する方法を身につけることができる。(2) 言語学的な視点に立って問題提起を行い、資料収集することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	(1)と(2)についてはレポートの成績に基づいて評価する。
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

常に問題意識をもちながら、取り組んでください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリントを配布します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜紹介します。

前提学力等

現代ドイツ語について十分な知識があること。

履修資格

講義名	異文化接触論/							担当教員	吉村 淳一
講義コード	1800020	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	授業の説明
第2回	インド・ヨーロッパ語族	印欧語研究とアプローチの仕方
第3回	ゲルマン語派	西ゲルマン語・北ゲルマン語・東ゲルマン語
第4回	古高ドイツ語(1)	ドイツ語の時代区分・古高ドイツ語の言語的特徴
第5回	古高ドイツ語(2)	言語資料と研究事例
第6回	中高ドイツ語(1)	言語的特徴
第7回	中高ドイツ語(2)	言語資料と研究事例
第8回	中高ドイツ語(3)	言語資料と研究事例
第9回	中高ドイツ語(4)	言語資料と研究事例
第10回	初期新高ドイツ語(1)	言語的特徴
第11回	初期新高ドイツ語(2)	言語資料と研究事例
第12回	初期新高ドイツ語(3)	言語資料と研究事例
第13回	新高ドイツ語(1)	言語的特徴
第14回	新高ドイツ語(2)	言語資料と研究事例
第15回	現代ドイツ語	言語資料と研究事例

担当者から一言

知識を身につけると言うよりは、研究対象へのアプローチの仕方を学んでください。

講義名	現代生活論							担当教員	細馬 宏通 / 上野 有理 / 松嶋 秀明 / 丸山 真央
講義コード	1800040	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	572NUT502, 572HRS501								

授業概要

現代生活における人間関係での諸問題をオムニバス方式により、それぞれの専門領域から批判的に検討する。第1回～第4回「人間発達の進化的基盤と社会的支援」、第5回～第8回「コミュニケーションの研究手法」、第9回～第12回「臨床心理学とナラティブのものの見方」、第13回～第15回「地域社会の構造と変動」。

到達目標

現代生活における人間関係に関わる諸問題について心理学、社会学の専門領域からアプローチして、人間関係論の発展的な課題と方法について理解を深め、自分の考えを的確に述べることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	発表や各担当教員によって指定された提出レポートを総合して評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	現代生活論						担当教員 細馬 宏通 / 上野 有理 / 松嶋 秀明 / 丸山 真央	
講義コード	1800040	単位数	2	開講期	後期	授業種別		講義
ナンバリング番号	572NUT502, 572HRS501							

授業計画		
------	--	--

回数	タイトル	概要
第1回	人間発達の進化的基盤と社会的支援 (1)	人間発達の進化的基盤と社会的支援 (1)
第2回	人間発達の進化的基盤と社会的支援 (2)	人間発達の進化的基盤と社会的支援 (2)
第3回	人間発達の進化的基盤と社会的支援 (3)	人間発達の進化的基盤と社会的支援 (3)
第4回	人間発達の進化的基盤と社会的支援 (4)	人間発達の進化的基盤と社会的支援 (4)
第5回	相互行為と身体 (1)	消費活動の中での相互行為：レジのお金の受け渡し
第6回	相互行為と身体 (2)	ゲームの中の相互行為：カードゲームのルール生成
第7回	相互行為と身体 (3)	介護活動の中の相互行為：立ち上がりの支援
第8回	相互行為と身体 (4)	会話の中の相互行為：回想法と身体動作
第9回	学校の臨床 (1)	多職種連携について
第10回	学校の臨床 (2)	学校における虐待と発達障害について
第11回	学校の臨床 (3)	学校におけるいじめ
第12回	学校の臨床 (4)	学校における子どものレジリエンス
第13回	地域社会の構造と変動 (1)	大都市におけるグローバル化・ネオリベリズムの諸相
第14回	地域社会の構造と変動 (2)	山村における高齢化・人口減少の諸相
第15回	地域社会の構造と変動 (3)	巨大災害と地域社会の諸問題

担当者から一言		
---------	--	--

--	--	--

講義名	アジア考古学 B							担当教員	定森 秀夫 / 濱崎 一志
講義コード	1810030	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571JHS512								

授業概要

朝鮮半島の三国時代および中国の考古学的成果を概述する。朝鮮三国時代と中国魏晋南北朝時代は時期的に平行し、その前の秦漢時代から、中国と朝鮮は密接な連関関係にある。高句麗・百済・新羅・加耶の考古学の成果を豊富な資料を駆使して、提示していく。また、朝鮮三国時代における各国の相互関係・对中国関係についても詳述する。中国考古学では、新石器時代から遼金時代までの考古学的成果を提示し、同時に中国文化の周辺への波及の問題にも触れる。日本古代史は当時の中国・朝鮮の動向抜きには語ることができない。朝鮮・中国考古学の成果を日本考古学の研究に生かしていく必要がある。

到達目標

アジア地域の考古学の内容を理解する。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	レポート等
上記以外	60	理解度 (50%)、授業態度 (10%)

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリント資料を配布する。参考書は講義の中で紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	環琵琶湖地域論 B							担当教員	水野 章二 / 東 幸代 / 武田 俊輔
講義コード	1810070	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571JHS504								

授業概要

琵琶湖を核として、自然的・歴史的・社会的に密接な関係を作り出してきた環琵琶湖地域の特性を、総合的な視点から検討する。環琵琶湖地域の過去と現在を総合的に検討する中で、現代における新しい地域社会のあり方を追求する。授業では、参加者の関心のあるテーマを随時選び、3人の教員と参加者との自由な議論を通じて、環琵琶湖地域に関する認識を相互に深めていくことをめざす。

到達目標

- (1) 環琵琶湖地域における諸問題について、自分自身の観点から課題を設定できる。
- (2) 設定した問題の意味・有効性・可能性などを的確に説明できる。
- (3) 他の人の報告に対して、積極的に議論し、認識を深めることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業における報告および討論 (1) 環琵琶湖地域における諸問題について、自分自身の観点から課題を設定できる。 40% (2) 設定した問題の意味・有効性・可能性などを的確に説明できる。 30%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	環琵琶湖保存修景計画論 A							担当教員	濱崎 一志 / 石川 慎治
講義コード	1810090	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571JPR506								

授業概要

生活環境が急激に変化しつつある現在、環琵琶湖地域で先人たちがつちかっていた伝統とはぐくんできた文化をあらためて見直し、調査と再評価を通じてこれからのまちづくりに地域の文化遺産と伝統を再生し、活用する方法をさぐる保存修景計画について述べる。講義は滋賀県内の町なみ、集落、文化的景観を中心におこなう。

到達目標

- (1)近江における町なみや文化的景観の現状について理解し、説明できる。
(2)町なみや文化的景観の保存のあり方について、自らの考えを述べるができる。
(3)町なみや文化的景観の活用や地域の活性化について、自らの考えを述べるができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標で示す(1)近江における町なみや文化的景観の現状について理解し、説明できる、(2)町なみや文化的景観の保存のあり方について、自らの考えを述べるができる、(3)町なみや文化的景観の活用や地域の活性化について、自らの考えを述べるができる、について課題レポート(100%)で評価する。
上記以外		

100点満点で採点し、60点以上を合格とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリント資料を配布する。参考書は講義の中で紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	環琵琶湖保存修景計画論 A							担当教員	濱崎 一志 / 石川 慎治
講義コード	1810090	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571JPR506								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	環琵琶湖地域の町なみと集落	環琵琶湖地域の町なみと集落についての概要を述べる。
第2回	湖南の町なみと集落1	坂本と堅田
第3回	湖南の町なみと集落2	草津と石部
第4回	湖南の町なみと集落3	土山と日野
第5回	湖西の町なみと集落1	海津と針江
第6回	湖西の町なみと集落2	在原と棕川
第7回	臨地講義	第2回～第6回のなかで紹介した町なみ・集落を実際に訪れて講義を行う。
第8回	湖東の町なみと集落1	旧八幡町と円山・白王
第9回	湖東の町なみと集落2	彦根城下町と山村
第10回	湖東の町なみと集落3	高宮、鳥居本、江頭、武佐
第11回	湖北の町なみと集落1	長浜と木之本
第12回	湖北の町なみと集落2	伊吹、醒ヶ井、柏原
第13回	湖北の町なみと集落3	余呉と菅浦
第14回	臨地講義	第8回～第13回のなかで紹介した町なみ・集落を実際に訪れて講義を行う。
第15回	環琵琶湖地域における保存修景計画のまとめ	環琵琶湖地域における保存修景計画のまとめを行う。
担当者から一言		

講義名	環琵琶湖保存修景計画論 B							担当教員	石川 慎治 / 濱崎 一志
講義コード	1810100	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571JPR507								

授業概要

生活環境が急激に変化しつつある現在、滋賀県周辺で先人たちがつちかってきた伝統とはぐくんできた文化をあらためて見直し、調査と再評価を通じてこれからのまちづくりに地域の文化遺産と伝統を再生し、活用する方法をさぐる保存修景計画について述べる。講義は街道、町なみ、集落、文化的景観を中心に、三重県、岐阜県、福井県のなかでも滋賀県に隣接する地域を視野に入れて講義を進める。

到達目標

- (1) 町なみや文化的景観の現状について理解し、説明できる。
(2) 町なみや文化的景観の保存のあり方について、自らの考えを述べるができる。
(3) 町なみや文化的景観の活用や地域の活性化について、自らの考えを述べるができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標で示す(1)町なみや文化的景観の現状について理解し、説明できる、(2)町なみや文化的景観の保存のあり方について、自らの考えを述べるができる、(3)町なみや文化的景観の活用や地域の活性化について、自らの考えを述べるができる、について課題レポート(100%)で評価する。
上記以外		

100点満点で採点し、60点以上を合格とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリント資料を配布する。参考書は講義の中で紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	環琵琶湖保存修景計画論 B							担当教員	石川 慎治 / 濱崎 一志
講義コード	1810100	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571JPR507								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	伝統的建造物群保存地区と文化的景観と世界遺産	伝統的建造物群保存地区と文化的景観と世界遺産について説明する。
第2回	鯖街道の町なみと集落1	小浜と遠敷
第3回	鯖街道の町なみと集落2	熊川と朽木
第4回	鯖街道の町なみと集落3	出町と錦
第5回	東海道の町なみと集落1	関
第6回	東海道の町なみと集落2	坂下
第7回	臨地講義	第2回～第6回で紹介した町なみ・集落を実際に訪れて、講義を行う。
第8回	北国街道の町なみと集落1	板取と今庄
第9回	北国街道の町なみと集落	大野
第10回	中山道の町なみと集落	関ヶ原と垂井と赤坂
第11回	八風街道の町なみと集落	田光
第12回	伊賀街道の町なみと集落1	伊賀上野
第13回	伊賀街道の町なみと集落2	加茂
第14回	臨地講義	第8回～第13回で紹介した町なみ・集落を実際に訪れて、講義を行う。
第15回	保存修景計画のまとめ	保存修景計画のまとめを行う。
担当者から一言		

講義名	現代中国特論B							担当教員	横田 祥子
講義コード	1810130	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571JPR510								

授業概要

中国と聞くと、現在わたしたちは国境線に囲まれた地理的概念を思い浮かべる。しかし、この境界線は20世紀に入り確定されたものであり、中国の影響がこの範囲に留まったことはなかった。中国の歴代王朝は、近隣諸国と朝貢関係を結んできたし、また膨大な人口規模の移民を、鉱山や農地の開発、商業活動のために、主に東南アジアや北米大陸へ送りだしてきた。このような海外に渡った華僑とその子孫は、移住後中国との結びつきが途切れたわけではなく、20世紀アジアの政治変動の中で、中国と移住先国の間で翻弄されてきた。そして、近年中国が国際社会でプレゼンスを高めるに伴い、彼らの生活やビジネスは再び変化を余儀なくされている。本授業では、東南アジアおよび北米の華人社会といった「外側の中国」から、中国を逆照射することによって、国境線内部にとどまらない相互の影響力と結びつきについて検討する。

到達目標

- (1) 華僑華人研究の主要な議論を理解する。
- (2) 東南アジアから北米まで、複数地域の事例を比較検討することで、広い歴史的視野を持つ。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	(1) 授業での議論を理解し、重要概念を用いている。(20%) (2) 海外華僑華人、華人社会に関するトピックを選び、自ら収集したデータに基づき、論じることができる。(20%)
上記以外	40	(1) 関連文献の内容を的確に紹介し、批評できる。(20%) (2) 報告を聞き、議論にて自らの意見を積極的に発表する。(20%)

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	社会学特論B							担当教員	武田 俊輔
講義コード	1810160	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571JPR503								

授業概要

社会学という学問の概観を把握するべく、社会学の理論、および社会学の各分野に関する講読と講義を踏まえつつ、ディスカッションを通じてその理解を深める。

到達目標

- (1) 社会理論に関する知識に基づいた社会学的な思考の仕方を習得できる。
- (2) 講義内で取り上げた社会学の個別領域について、社会学的な視点から具体例を挙げて分析し、論述できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	講義内で取り上げた社会学の個別領域について、社会学的な視点から具体例を挙げて分析し、論述できているか。
上記以外	50	毎回の講義内での報告とディスカッションを通じて、社会理論に関する知識に基づいた社会学的な思考の仕方を習得できているか。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	女性史・ジェンダー論 B							担当教員	京樂 真帆子
講義コード	1810200	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571JHS506								

授業概要

滋賀県の近現代史をジェンダーの視点から理解する。特に、戦時中の地域婦人会の活動について、史料や文献に基づいて議論を行う。
隔年開講につき、2018年度は不開講。

到達目標

- (1) 滋賀県内の地域婦人会史料に関する基礎知識を身につける。
- (2) 滋賀県の文化について、ジェンダー分析を行うことが出来る。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	適宜確認テストを行う。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	女性史・ジェンダー論B							担当教員	京樂 真帆子
講義コード	1810200	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571JHS506								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	ガイダンスを行う。 当該年度のテーマ、史料、スケジュールについて説明する。
第2回	地域婦人会史料の読解と議論 (1)	地域婦人会史料の読解と議論を行う。
第3回	地域婦人会史料の読解と議論 (2)	引き続き、地域婦人会史料の読解と議論を行う。
第4回	地域婦人会史料の読解と議論 (3)	引き続き、地域婦人会史料の読解と議論を行う。
第5回	地域婦人会史料の読解と議論 (4)	引き続き、地域婦人会史料の読解と議論を行う。
第6回	地域婦人会史料の読解と議論 (5)	引き続き、地域婦人会史料の読解と議論を行う。
第7回	地域婦人会史料の読解と議論 (6)	引き続き、地域婦人会史料の読解と議論を行う。
第8回	地域婦人会史料の読解と議論 (7)	引き続き、地域婦人会史料の読解と議論を行う。
第9回	地域婦人会史料の読解と議論 (8)	引き続き、地域婦人会史料の読解と議論を行う。
第10回	地域婦人会史料の読解と議論 (9)	引き続き、地域婦人会史料の読解と議論を行う。
第11回	地域婦人会史料の読解と議論 (10)	引き続き、地域婦人会史料の読解と議論を行う。
第12回	地域婦人会史料の読解と議論 (11)	引き続き、地域婦人会史料の読解と議論を行う。
第13回	地域婦人会史料の読解と議論 (12)	引き続き、地域婦人会史料の読解と議論を行う。
第14回	地域婦人会史料の読解と議論 (13)	引き続き、地域婦人会史料の読解と議論を行う。
第15回	まとめ	まとめを行う。
担当者から一言		

講義名	地域産業論B							担当教員	塚本 礼仁
講義コード	1810230	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571JPR505								

授業概要

今日、地域の振興方策に関する議論が活発であるが、そのなかでも地域産業の育成という問題の重要性や緊急性は非常に高い。本講義では、都心周辺のインナーシティにおける小売商業や全国各地で多様な形をもって展開する観光事業の実情について、地域経済上の役割または機能といった側面から分析・評価していく。なお、隔年開講の地域産業論Aでは、第一次産業（農林水産業）と第二次産業（製造業）を扱う。

到達目標

- (1) 経済地理学の発展的理論を理解し、都市商業の動態を説明することができる。
(2) 経済地理学の発展的理論を理解し、観光地の動態を説明することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	到達目標(1)30%、到達目標(2)30%とする。
上記以外	40	ゼミ形式の文献発表の内容によって評価し、到達目標(1)20%、到達目標(2)20%とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特定のものを使用しない。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テーマに沿った文献等を配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	地域産業論 B							担当教員	塚本 礼仁
講義コード	1810230	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571JPR505								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	
第2回	都市経済と商店街の再生 1	基礎・発展理論
第3回	都市経済と商店街の再生 2	インナーシティ問題
第4回	都市経済と商店街の再生 3	コンビニと商店街
第5回	都市経済と商店街の再生 4	都市の新産業
第6回	都市経済と商店街の再生 5	都市のマーケティング
第7回	都市経済と商店街の再生 6	タウンマネジメント
第8回	都市経済と商店街の再生 7	海外事例：イタリア
第9回	ツーリズムの展開と地域振興 1	基礎・発展理論
第10回	ツーリズムの展開と地域振興 2	観光地と地域イメージ
第11回	ツーリズムの展開と地域振興 3	エコ・ツーリズムの現状と課題
第12回	ツーリズムの展開と地域振興 4	ジオ・パークの現状と課題
第13回	ツーリズムの展開と地域振興 5	ヘリテージ・ツーリズムの現状と課題
第14回	ツーリズムの展開と地域振興 6	産業観光の現状と課題
第15回	ツーリズムの展開と地域振興 7	海外事例：イタリア
担当者から一言		

講義名	地域文化遺産調査・情報論							担当教員	濱崎 一志 / 石川 慎治
講義コード	1810260	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571JPR508								

授業概要

歴史的環境を構成する町なみや集落、遺跡や遺構などの地域文化財の調査と情報化について述べる。デジタルデータの作成、編集、発信について具体的に解説する。

到達目標

- (1)遺跡や建造物などを対象とする文化財のデジタル測定の基礎を理解し、実践できる。
(2)デジタル測定により、えられた3次元モデルをCGを用いて表現できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標で示す(1)遺跡や建造物などを対象とする文化財のデジタル測定の基礎を理解し、実践できる、(2)デジタル測定により、えられた3次元モデルをCGを用いて表現できる、については毎回課する課題(100%)で評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリント資料を配布する。参考書は講義の中で紹介する。

前提学力等

文化財情報論を修得していることが望ましい。

履修資格

講義名	地域文化遺産調査・情報論							担当教員	濱崎 一志 / 石川 慎治
講義コード	1810260	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571JPR508								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	地図のデジタル化	スキャニングとラスターライズ
第2回	実測図の作成とデジタル化	スキャニングとラスターライズ
第3回	トータルステーション(レーザー測距器)を用いたデジタル測量(1)	基準点測量
第4回	トータルステーション(レーザー測距器)を用いたデジタル測量(2)	実測
第5回	AutoCADを用いたデジタルデータの3次元化	デジタルデータの3次元化
第6回	AutoCADを用いたデジタルデータのデータベース化	デジタルデータのデータベース化
第7回	3D StudioMAXを用いた3次元データのアニメーション化	3次元データのアニメーション化
第8回	3D StudioMAXを用いた3次元データのフォト・リアリスティック・レンダリング	3次元データのフォト・リアリスティック・レンダリング
第9回	GPSを用いたデジタル測量	デジタル測量
第10回	GPSを用いたデジタルデータの分析	デジタルデータの分析
第11回	ArcGISを用いた文化財データベースの構築	文化財データベースの構築
第12回	ArcGISを用いた文化財データベースの活用	文化財データベースの活用
第13回	気球を用いた写真撮影の基礎	調査概要、基本操作
第14回	気球を用いた集落写真の撮影	捜査、撮影
第15回	まとめ	地域文化財の調査と情報化のまとめ
担当者から一言		

講義名	地域文化学特別演習（地域・1年次）							担当教員	専攻教員 / 東 幸代 / 石川 慎治 / 市川 秀之 / 亀井 若菜 / 京樂 真帆子 / 定森 秀夫 / 武田 俊輔 / 田中 俊明 / 塚本 礼仁 / 中井 均 / 濱崎 一志 / 水野 章二 / 横田 祥子
講義コード	1810270	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	571REG601								

授業概要

地域の文化にこめられた歴史的伝統や現代的意義を理解し、これらに関する研究を深めていくため、各自が専攻する分野に応じて、文献講読やセミナー形式での報告・討論・評価を行う。

到達目標

(1) 修士論文の作成において欠かせない専門的な知識や技術を習得できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	修士論文の作成において欠かせない専門的な知識や技術を習得できるについては、報告の内容で評価を行う。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

前提学力等

履修資格

講義名	地域文化学特別演習（地域・1年次）						担当教員	専攻教員 / 東 幸代 / 石川 慎治 / 市川 秀之 / 亀井 若菜 / 京樂 真帆子 / 定森 秀夫 / 武田 俊輔 / 田中 俊明 / 塚本 礼仁 / 中井 均 / 濱崎 一志 / 水野 章二 / 横田 祥子	
講義コード	1810270	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別			演習
ナンバリング番号	571REG601								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各担当教員より、各回の内容・スケジュールを説明する。
第2回	地域文化学特別演習 その1	
第3回	地域文化学特別演習 その2	
第4回	地域文化学特別演習 その3	
第5回	地域文化学特別演習 その4	
第6回	地域文化学特別演習 その5	
第7回	地域文化学特別演習 その6	
第8回	地域文化学特別演習 その7	
第9回	地域文化学特別演習 その8	
第10回	地域文化学特別演習 その9	
第11回	地域文化学特別演習 その10	
第12回	地域文化学特別演習 その11	
第13回	地域文化学特別演習 その12	
第14回	地域文化学特別演習 その13	
第15回	地域文化学特別演習 その14	
第16回	地域文化学特別演習 その15	
第17回	地域文化学特別演習 その16	
第18回	地域文化学特別演習 その17	
第19回	地域文化学特別演習 その18	
第20回	地域文化学特別演習 その19	
第21回	地域文化学特別演習 その20	
第22回	地域文化学特別演習 その21	
第23回	地域文化学特別演習 その22	
第24回	地域文化学特別演習 その23	
第25回	地域文化学特別演習 その24	
第26回	地域文化学特別演習 その25	
第27回	地域文化学特別演習 その26	
第28回	地域文化学特別演習 その27	
第29回	地域文化学特別演習 その28	
第30回	まとめ	

担当者から一言

講義名	地域文化学特別演習（地域・2年次）						担当教員	専攻教員 / 東 幸代 / 石川 慎治 / 市川 秀之 / 亀井 若菜 / 京樂 真帆子 / 定森 秀夫 / 武田 俊輔 / 田中 俊明 / 塚本 礼仁 / 中井 均 / 濱崎 一志 / 水野 章二 / 横田 祥子	
講義コード	1810280	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別			演習
ナンバリング番号	571REG601								

授業概要

地域文化にこめられた歴史的伝統を明らかにし、地域文化の現代的意義を認識し、その研究を深めるために、各自の専攻する分野にしたがって、文献購読やセミナー形式での報告・討論・評価を行い、研究遂行上の必要な専門知識、技術の深化と関連知識の拡大をはかる。

到達目標

(1) 修士論文の作成において欠かせない専門的な知識と技術を習得する。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	修士論文の作成において欠かせない専門的な知識と技術を習得するについては、報告の内容により評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

前提学力等

履修資格

講義名	地域文化化学特別演習（地域・2年次）							担当教員	専攻教員 / 東 幸代 / 石川 慎治 / 市川 秀之 / 亀井 若菜 / 京樂 真帆子 / 定森 秀夫 / 武田 俊輔 / 田中 俊明 / 塚本 礼仁 / 中井 均 / 濱崎 一志 / 水野 章二 / 横田 祥子
講義コード	1810280	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	571REG601								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各担当教員より、各回の内容・スケジュールについて説明する。
第2回	地域文化化学特別演習その1	
第3回	地域文化化学特別演習その2	
第4回	地域文化化学特別演習その3	
第5回	地域文化化学特別演習その4	
第6回	地域文化化学特別演習その5	
第7回	地域文化化学特別演習その6	
第8回	地域文化化学特別演習その7	
第9回	地域文化化学特別演習その8	
第10回	地域文化化学特別演習その9	
第11回	地域文化化学特別演習その10	
第12回	地域文化化学特別演習その11	
第13回	地域文化化学特別演習その12	
第14回	地域文化化学特別演習その13	
第15回	地域文化化学特別演習その14	
第16回	地域文化化学特別演習その15	
第17回	地域文化化学特別演習その16	
第18回	地域文化化学特別演習その17	
第19回	地域文化化学特別演習その18	
第20回	地域文化化学特別演習その19	
第21回	地域文化化学特別演習その20	
第22回	地域文化化学特別演習その21	
第23回	地域文化化学特別演習その22	
第24回	地域文化化学特別演習その23	
第25回	地域文化化学特別演習その24	
第26回	地域文化化学特別演習その25	
第27回	地域文化化学特別演習その26	
第28回	地域文化化学特別演習その27	
第29回	地域文化化学特別演習その28	
第30回	まとめ	

担当者から一言

講義名	地域文化学特別研究（地域・1年次）							担当教員	専攻教員 / 東 幸代 / 石川 慎治 / 市川 秀之 / 亀井 若菜 / 京樂 真帆子 / 定森 秀夫 / 武田 俊輔 / 田中 俊明 / 塚本 礼仁 / 中井 均 / 濱崎 一志 / 水野 章二 / 横田 祥子
講義コード	1810290	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	571REG602								

授業概要

各自のテーマに応じて、研究の遂行に関わる基本的な事項（研究計画の立案、フィールドワークの技術、作業仮説の設定、データの収集・解析、問題の明確化と整理の手法、論文の作成など）を指導する。

到達目標

(1) 地域研究の手法を身に付け、学術的にレベルの高い修士論文をまとめるための能力を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	地域研究の手法を身に付け、学術的にレベルの高い修士論文をまとめるための能力を身につけるについては、報告の内容に基づいて評価する。100点満点で60点以上を合格とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

前提学力等

履修資格

講義名	地域文化学特別研究（地域・1年次）							担当教員	専攻教員 / 東 幸代 / 石川 慎治 / 市川 秀之 / 亀井 若菜 / 京樂 真帆子 / 定森 秀夫 / 武田 俊輔 / 田中 俊明 / 塚本 礼仁 / 中井 均 / 濱崎 一志 / 水野 章二 / 横田 祥子
講義コード	1810290	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	571REG602								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各担当教員より、各回の内容・スケジュールについて説明する。
第2回	地域文化学研究その1	
第3回	地域文化学研究その2	
第4回	地域文化学研究その3	
第5回	地域文化学研究その4	
第6回	地域文化学研究その5	
第7回	地域文化学研究その6	
第8回	地域文化学研究その7	
第9回	地域文化学研究その8	
第10回	地域文化学研究その9	
第11回	地域文化学研究その10	
第12回	地域文化学研究その11	
第13回	地域文化学研究その12	
第14回	地域文化学研究その13	
第15回	地域文化学研究その14	
第16回	地域文化学研究その15	
第17回	地域文化学研究その16	
第18回	地域文化学研究その17	
第19回	地域文化学研究その18	
第20回	地域文化学研究その19	
第21回	地域文化学研究その20	
第22回	地域文化学研究その21	
第23回	地域文化学研究その22	
第24回	地域文化学研究その23	
第25回	地域文化学研究その24	
第26回	地域文化学研究その25	
第27回	地域文化学研究その26	
第28回	地域文化学研究その27	
第29回	地域文化学研究その28	
第30回	まとめ	

担当者から一言

講義名	地域文化学特別研究（地域・2年次）							担当教員	専攻教員 / 東 幸代 / 石川 慎治 / 市川 秀之 / 亀井 若菜 / 京樂 真帆子 / 定森 秀夫 / 武田 俊輔 / 田中 俊明 / 塚本 礼仁 / 中井 均 / 濱崎 一志 / 水野 章二 / 横田 祥子
講義コード	1810300	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	571REG602								

授業概要

各自のテーマに応じて、研究の遂行に関わる基本的な事項（研究計画の立案、フィールドワークの技術、作業仮説の設定、データの収集・解析、問題の明確化と整理の手法、論文の作成など）を指導する。

到達目標

(1) 地域研究の手法を身に付け、学術的にレベルの高い修士論文をまとめるための能力を身につけることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	地域研究の手法を身に付け、学術的にレベルの高い修士論文をまとめるための能力を身につけることができるについては、報告の内容で評価する。100点満点で60点以上を合格とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

前提学力等

履修資格

講義名	地域文化学特別研究（地域・2年次）						担当教員	専攻教員 / 東 幸代 / 石川 慎治 / 市川 秀之 / 亀井 若菜 / 京樂 真帆子 / 定森 秀夫 / 武田 俊輔 / 田中 俊明 / 塚本 礼仁 / 中井 均 / 濱崎 一志 / 水野 章二 / 横田 祥子	
講義コード	1810300	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別			演習
ナンバリング番号	571REG602								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各担当教員により各回の内容・スケジュールについて説明する。
第2回	地域文化特別研究その1	
第3回	地域文化特別研究その2	
第4回	地域文化特別研究その3	
第5回	地域文化特別研究その4	
第6回	地域文化特別研究その5	
第7回	地域文化特別研究その6	
第8回	地域文化特別研究その7	
第9回	地域文化特別研究その8	
第10回	地域文化特別研究その9	
第11回	地域文化特別研究その10	
第12回	地域文化特別研究その11	
第13回	地域文化特別研究その12	
第14回	地域文化特別研究その13	
第15回	地域文化特別研究その14	
第16回	地域文化特別研究その15	
第17回	地域文化特別研究その16	
第18回	地域文化特別研究その17	
第19回	地域文化特別研究その18	
第20回	地域文化特別研究その19	
第21回	地域文化特別研究その20	
第22回	地域文化特別研究その21	
第23回	地域文化特別研究その22	
第24回	地域文化特別研究その23	
第25回	地域文化特別研究その24	
第26回	地域文化特別研究その25	
第27回	地域文化特別研究その26	
第28回	地域文化特別研究その27	
第29回	地域文化特別研究その28	
第30回	まとめ	

担当者から一言

講義名	中国历史文化特論							担当教員	辻 正博
講義コード	1810310	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571JHS513								

授業概要

「書写と出版の中国史」

以下のテーマについて解説を行い、中国文化の歴史的展開に対する理解を深める。

- (1) 書写材料論……甲骨、青銅器、石、竹・木、紙などに文字が記された歴史的背景を探る
- (2) 書物の形態……巻物から冊子へと変遷したのはなぜか。そのメリットとデメリット
- (3) 書写・出版と政治権力……使えない文字（避諱）と出版規制
- (4) 書物の消長……書籍の消滅と復活
- (5) 書籍の収集と皇帝による文化事業……国家（皇帝）と民間における図書収集とそれらを利用した文化事業
- (6) 新技術の登場と出版文化……オフセット印刷が出版文化に及ぼした影響

到達目標

書写と書物の歴史という観点から中国文化に対する理解を深め、また、他の歴史世界の出版文化・文字文化に対する関心呼び覚ます。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	こちらが指示したテーマについて、各人が個別の論題を設定した上で、関連資料を調べてレポートを提出する。字数は4000字程度（以上）。脚注をつけること。
上記以外		

授業外学習

特に実施しないが、毎回の講義内容を受講生自らがノートに整理しておくことが強く望まれる。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	中国出版文化史 書物世界と知の風景	井上進	名古屋大学出版会	4815804206
2	中国の紙と印刷の文化史	銭存訓	法政大学出版局	9784588371189
3				

必要に応じて、プリントを配布する。

前提学力等

高等学校で履修する「世界史B」のレベルの知識が必要である。

履修資格

講義名	朝鮮史特論 A /							担当教員	河 かおる
講義コード	1810320	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

韓国・朝鮮近現代の歴史や社会、マイノリティー問題、ジェンダー論など、担当教員(河)の研究分野と、受講生の研究分野との接点を見いだして、授業で読み合わせる学術論文を決め、受講生が担当した学術論文の内容を要約して発表・論評し、全員で討論する形式で進める。

到達目標

自分が専門外とする分野であっても学術的な論文を正確に読み解き、他者の研究を的確に論評する力を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	課題報告および討論への参加

授業外学習

指定した学術論文を必ず精読してくること。発表の準備をすること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	朝鮮史特論 A /						担当教員	河 かおる	
講義コード	1810320	単位数	2	開講期	前期	授業種別			講義
ナンバリング番号									

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	受講生の顔合わせ
第2回	知識の確認、疑問点の洗い出しのためのグループ・ワーク	
第3回	関連ドキュメンタリー視聴(1) 内容に関する討論	
第4回	関連ドキュメンタリー視聴(2) 内容に関する討論	
第5回	テキストに基づいた報告・討論(1)	
第6回	テキストに基づいた報告・討論(2)	
第7回	テキストに基づいた報告・討論(3)	
第8回	中間まとめ	
第9回	テキストに基づいた報告・討論(4)	
第10回	テキストに基づいた報告・討論(5)	
第11回	テキストに基づいた報告・討論(6)	
第12回	テキストに基づいた報告・討論(7)	
第13回	テキストに基づいた報告・討論(8)	
第14回	テキストに基づいた報告・討論(9)	
第15回	まとめ	
担当者から一言		

講義名	朝鮮史特論 B /							担当教員	田中 俊明
講義コード	1810330	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号									

授業概要

朝鮮古代史の諸問題をとりあげる。特に学界で議論になっている問題を中心とする。ただし全てを取りあげるのではなく、受講生の専門と関連する地域・時代を選ぶ。受講生には、その主要論文を読み、その内容を批判的に紹介してもらい、また史料の読解を進める。

対外文化交流特論 B は、今年度は開講しません。

到達目標

研究論文・漢文史料に対する読解能力の蓄積・養成

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	発表準備・要旨のレベル。発表時以外の討論への参加度。史料の理解度。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	トランス・ヒマラヤ文化論/							担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1810340	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

インドヒマラヤのチベット社会についての文化人類学的研究を紹介する。その中で、フィールドワークの技法や文化人類学の理論について述べる。

到達目標

チベット社会への理解を深める。
フィールドワークの実際について学ぶ。
文化人類学の理論やタームについて習熟する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業における発表状況によって評価する。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	インドヒマラヤのチベット世界	棚瀬慈郎	明石書店	4750315044
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	トランス・ヒマラヤ文化論/						担当教員 棚瀬 慈郎	
講義コード	1810340	単位数	2	開講期	前期	授業種別		講義
ナンバリング番号								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	チベット世界の成り立ち	チベット世界の歴史と現状
第2回	チベット世界の成り立ち	チベット世界の歴史と現状
第3回	インドヒマラヤのチベット世界	ラホール渓谷のチベット社会について
第4回	インドヒマラヤのチベット世界	
第5回	インドヒマラヤのチベット世界	
第6回	インドヒマラヤのチベット世界	
第7回	インドヒマラヤのチベット世界	
第8回	インドヒマラヤのチベット世界	
第9回	インドヒマラヤのチベット世界	
第10回	インドヒマラヤのチベット世界	
第11回	インドヒマラヤのチベット世界	
第12回	インドヒマラヤのチベット世界	
第13回	インドヒマラヤのチベット世界	
第14回	インドヒマラヤのチベット世界	
第15回	インドヒマラヤのチベット世界	
担当者から一言		

講義名	日本考古学 B							担当教員	定森 秀夫 / 中井 均 / 花田 勝広
講義コード	1810370	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571JHS502								

授業概要

日本考古学はすでに100年を優に越す研究史がある。近年の発展めざましい関連諸科学との連携や関連諸国の考古学研究の進展に伴って、研究が充実すると同時に内容は複雑化してきている。本講義ではこれらの要点を現状に即して簡潔に整理し、対象を近江に関連付けながら、日本考古学の現状と課題を論じていく。

到達目標

日本考古学の内容を理解する。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	レポート等
上記以外	60	理解度 (50%)、授業態度 (10%)

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	日本考古学 B						担当教員	定森 秀夫 / 中井 均 / 花田 勝広	
講義コード	1810370	単位数	2	開講期	前期	授業種別			講義
ナンバリング番号	571JHS502								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	日本考古学の基礎	日本考古学の基礎知識
第2回	中・近世考古学概説	
第3回	城館遺跡の考古学	
第4回	列島の中世城館1 構造と地域性	
第5回	列島の中世城館2 居館の遺物と山城の遺物	
第6回	織豊系城郭の特質2 礎石建物	
第7回	織豊系城郭の特質3 瓦	
第8回	織豊系城郭の特質1 石垣	
第9回	近江における戦国城館の特質	
第10回	古代の鉄生産(1)	
第11回	古代の鉄生産(2)	
第12回	近江の鉄生産(1)	
第13回	近江の鉄生産(2)	
第14回	近江の鉄生産(3)	
第15回	近江の鉄生産(4)	

担当者から一言

講義名	日本生活文化論							担当教員	市川 秀之 / 森 隆男
講義コード	1810380	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571JPR501								

授業概要

古来日本人は様々な文化を日常生活のレベルで受容し、それを風土の中でたくみに変容して独自の文化形式を作り上げてきた。そこで、人々の生活の営為の総体としての生活文化の実態を明らかにするとともに、そこに見い出される文化の構造や特質といったものを、地域や時代に即して検討する。

到達目標

生活文化を具体例に即して理解すること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外		授業における発表および授業の最後に提出する小レポートによって評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	日本生活文化論							担当教員	市川 秀之 / 森 隆男
講義コード	1810380	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571JPR501								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	民俗学とは	民俗学・歴史民俗学などについての概説をおこなう
第2回	諸国風俗問状答を読む 1	近世後期に記された「諸国風俗問状」の講読およびその解説をおこなう。
第3回	諸国風俗問状答を読む 2	近世後期に記された「諸国風俗問状」の講読およびその解説をおこなう。
第4回	諸国風俗問状答を読む 3	近世後期に記された「諸国風俗問状」の講読およびその解説をおこなう。
第5回	諸国風俗問状答を読む 4	近世後期に記された「諸国風俗問状」の講読およびその解説をおこなう。
第6回	住居と環境 1	各地の事例をもとに、住居と環境に関する講義をおこなう。
第7回	住居と環境 2	各地の事例をもとに、住居と環境に関する講義をおこなう。
第8回	住居と環境 3	各地の事例をもとに、住居と環境に関する講義をおこなう。
第9回	住居と環境 4	各地の事例をもとに、住居と環境に関する講義をおこなう。
第10回	住居と環境 5	各地の事例をもとに、住居と環境に関する講義をおこなう。
第11回	住居の民俗 1	各地の事例をもとに、住居に関連する民俗についての講義をおこなう。
第12回	住居の民俗 2	各地の事例をもとに、住居に関連する民俗についての講義をおこなう。
第13回	住居の民俗 3	各地の事例をもとに、住居に関連する民俗についての講義をおこなう。
第14回	住居の民俗 4	各地の事例をもとに、住居に関連する民俗についての講義をおこなう。
第15回	住居の民俗 5	各地の事例をもとに、住居に関連する民俗についての講義をおこなう。
担当者から一言		

講義名	美術史特論B							担当教員	亀井 若菜
講義コード	1810410	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	571JHS508								

授業概要

日本の美術作品を取り上げ、作品を詳しく見、関連文献を購読し、何が、どのように、なぜ、描かれているのかをともに考えていく。また、美術史研究の方法や目的についても、関連する文献を読み、討論を通して、考えていきたい。
言葉とは異なる表現媒体である「イメージ」が何を見せ主張しているのか、「美術」や「イメージ」について考えるとはどういうことなのかを、文献講読、発表、討論を通して探っていく。
なお取り上げる作品や文献は、「美術史特論A」とは異なるものとする。

到達目標

- (1) 美術の個々の作品が何を見せようとしているのかを、考えることができるようになる。
- (2) 美術史研究の方法について、理解し自ら考えることができるようになる。
- (3) 自分の研究分野において使われるイメージ（視覚的表象）について、分析できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

到達目標(1)(2)については、授業における発言や報告において評価する。(3)については、各自の発表とレポートにより評価する。(1)(2)が50%、(3)が50%。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	北東アジア地域史 B							担当教員	地蔵堂 貞二
講義コード	1810430	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

本講義のテーマは中国語の白話史である。現代中国語に繋がる白話は唐末・五代の資料からまとまってみられるようになる。授業では唐末・五代、宋代、元代、明代、清代のそれぞれの時代を代表する白話文献（主に明清白話小説）を解説するとともに、作品の一部を講読する。

到達目標

- (1) 白話小説（四大奇書・五大小説）に関する理解を深めることができる。
- (2) 近代漢語で著された文献が専門的辞書を傍らに置きつつも読み進めることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	到達目標(1)について、記述試験を行う。(50%)
レポート課題	50%	到達目標(2)について、作品を指定し、日本語訳の提出を求める。(50%)
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストは使用しない。プリント等を適宜配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書については授業中に適宜紹介する。

前提学力等

中国語学習歴があることが望ましい。

履修資格

講義名	モンゴル・ディアスポラ論A/							担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1810450	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

いわゆるモンゴル系の民族集団は、モンゴル国のみならず、ロシア（カルムイク共和国、ブリヤート共和国）中国（内モンゴル自治区、青海省、新疆ウイグル自治区）の3カ国に分散居住している。モンゴル・ディアスポラ（離散民族）の特徴は、ホームランドに居住しながらにして、故郷に対する喪失感を持っているところにあるといえる。本講義では、こうしたモンゴル系集団のディアスポラの状況に至る歴史と現代的諸相を中国領モンゴル族とモンゴル国の関連など関連事項を踏まえながら考察する。

到達目標

国境にまたがる民族としてのモンゴル系諸族のディアスポラの状況を歴史・文化的側面から理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	課された課題を提出することやその内容によって評価
上記以外	50	出席状況と授業中の積極的な姿勢などによる評価

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

ボルジギン・ブレンサイン編著『内モンゴルを知るための60章』明石書店、2015年7月

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	モンゴル・ディアスポラ論B/							担当教員	島村 一平
講義コード	1810460	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

【内陸アジア文化人類学の最前線】

本講義では、モンゴルを含めた内陸アジアの社会・文化人類学研究の最前線を講じていく。かつてソ連やモンゴル人民共和国など、社会主義を標榜していた当該地域は、市場経済化や民主化といった政治経済的な変化のみならず、さまざまな文化・社会的転回を経験してきた。そうした中、この地域を巡る文化・社会人類学的研究は、ポスト社会主義の遊牧に関する生態・環境人類学的研究や宗教復興あるいは活性化（シャーマニズムや仏教、イスラームなど）などの問題を中心にさまざまな議論が展開されてきた。本講義では、こうした最前線の議論を紹介しながら、議論をしていくという形をとる。英語を含めた指定文献を読むことが必要となろう。

到達目標

内陸アジア文化人類学の最前線を知ることができる。
単なる事実にとどまらず、概念化（理論化）の手法を学ぶことができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	
上記以外	50	発表を課すものとする。

レポートと発表で評価するものとする。

授業外学習

指定された文献やレジュメを読んでから、授業に参加することが望ましい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

毎回、レジュメを配布する。

前提学力等

社会・文化人類学の基礎理論を理解していることが望ましい。

履修資格

講義名	対外文化交流特論B							担当教員	田中 俊明
講義コード	1810490	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号									

授業概要

朝鮮古代史の諸問題をとりあげる。特に学界で議論になっている問題を中心とする。ただし全てを取りあげるのではなく、受講生の専門と関連する地域・時代を選ぶ。受講生には、その主要論文を読み、その内容を批判的に紹介してもらい、また史料の読解を進める。

対外文化交流特論Bは、今年度は開講しません。

到達目標

研究論文・漢文史料に対する読解能力の蓄積・養成

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	発表準備・要旨のレベル。発表時以外の討論への参加度。史料の理解度。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	対外文化交流特論B							担当教員	田中 俊明
講義コード	1810490	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号									

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	分担を決める	それぞれの関心によって、朝鮮古代史に関する論文を選ぶ。
第2回	関係論文 1 を読む	分担者が準備した内容要約・検討をもとに、全員で考える。また関連史料を読解する。
第3回	関係論文 2 を読む	同上
第4回	関係論文 3 を読む	同上
第5回	関係論文 4 を読む	同上
第6回	関係論文 5 を読む	同上
第7回	関係論文 6 を読む	同上
第8回	関係論文 7 を読む	同上
第9回	関係論文 8 を読む	同上
第10回	関係論文 9 を読む	同上
第11回	関係論文 10 を読む	同上
第12回	関係論文 11 を読む	同上
第13回	関係論文 12 を読む	同上
第14回	関係論文 13 を読む	同上
第15回	関係論文 14 を読む	同上
担当者から一言		

講義名	応用言語学特論A						担当教員	小栗 裕子	
講義コード	1810500	単位数	2	開講期	後期	授業種別			演習
ナンバリング番号	571LAC501								

授業概要

第二言語習得論のテーマである母語の要因や年齢要因、動機づけなどの情意面をどのように外国語学習に応用できるかという理論と実践面を多角的に研究する。

到達目標

- (1) 第二言語習得のメカニズムを理解する
- (2) 外国語学習への応用を研究できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	授業での議論を踏まえ、レポートにまとめる
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	応用言語学特論B							担当教員	Martin Hawkes / 小栗 裕子
講義コード	1810510	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571LAC502								

授業概要

This course will examine how applied linguistics studies can help us understand second language learning and teaching. It will also introduce some of the research methods required for graduate school studies. The exact content of each class will be determined by students' knowledge and interests. However, the following is a possible course outline:

First, we will explore language teaching methods, and the research that has investigated them; this will include the analysis of classroom interaction. Further, we will look at factors that make good language learners, and some of the research methods that can be used to investigate this area. Finally, we will consider how modern corpora can help us understand language more deeply, and how they can be used as a teaching and learning tools. Course participants can choose a research method to further explore an area of their interest.

到達目標

The aim of this course is as follows:

- To understand issues in second language acquisition and language teaching
- To undergo research method training to conduct second language acquisition/language teaching research

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	Research report: 70%
上記以外	30	Participation and class work: 30%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There are no set textbooks for this course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

In this course, students will be expected both to read academic texts and write an assignment in English.

履修資格

講義名	英語詩学特論							担当教員	John Rippey
講義コード	1810520	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571LAC503								

授業概要

This course deepens understanding of the essential elements of English poetics -- including image, sound, narrative, content, and lineation -- through reading and discussion of prominent works of poetry across the history of English language literature. Poetry and poetics represent a distinct discipline and field of its own. At the same time, poetry and poetics are important elements in every type of language use, whether it be communicative, academic, literary, or other. Poetry and poetics are also sources of pleasure. Working familiarity with poetry and poetics enhances language comprehension and expression and strengthens receptive and productive skills. The course takes a chronological approach to English language poetry and addresses elements of poetics as they emerge in the poems under consideration.

到達目標

- (1) Knowledge of fundamental elements of English language poetics.
- (2) Familiarity with widely known works of English poetry.
- (3) Understanding of the evolution of the English language and English poetics over time.
- (4) Enhanced overall comprehension ability in English, especially in reading skills.
- (5) Enhanced overall expressive ability in English, especially in writing skills.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	(1) 10% (2) 10% (3) 10%
上記以外	50%	Weekly response papers: (1) 10% (2) 10%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語詩学特論							担当教員	John Rippey
講義コード	1810520	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571LAC503								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction	An overview of the concerns, concepts, and learning material of the course.
第2回	Old English, Part 1	An overview of Old English, and close reading and discussion of a sampling of Old English lyric poems.
第3回	Old English, Part 2	Close reading of sections of Beowulf.
第4回	Middle English, Part 1	An overview of Middle English, and close reading of some Middle English lyric poems.
第5回	Middle English, Part 2	Close reading of sections of The Canterbury Tales (Chaucer).
第6回	Early Modern English	An overview of Early Modern English, and close reading of two sonnets by Shakespeare.
第7回	The Romantic Era, Part 1	Overview of the Romantic Era, and close reading of poems by Coleridge, Wordsworth, and Clare.
第8回	The Romantic Era, Part 2	Close reading of poems by Blake, Shelley, and Keats. Discussion of critical/creative research paper topic.
第9回	The Romantic Era, Part 3	Overview of the American Renaissance, and close reading of poems by Dickinson and Whitman.
第10回	The Modern Era, Part 1	Overview of the Modern Era, and close reading of poems by Yeats and Auden.
第11回	The Modern Era, Part 2	Close reading of poems by Eliot and Stevens.
第12回	Contemporary Poetry, Part 1	Overview of contemporary poetry, and close reading of poems by 20th and 21st century British and Irish poets.
第13回	Contemporary Poetry, Part 2	Close reading of poems by 20th and 21st century American and Australian poets.
第14回	Contemporary Poetry, Part 3	Close reading of poems by 20th and 21st century Indian and Caribbean poets.
第15回	Overview	Presentation and discussion of critical/creative research papers.
担当者から一言		

講義名	日英対照言語学特論							担当教員	小熊 猛
講義コード	1810530	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571LAC504								

授業概要

日本語と英語の機能的対応構文を比較対照し、異なる構文選択を「事態の捉え方」の違いに還元できないかを考察します。

到達目標

- (1) 日英の異なる言語的振る舞い(構文の違い)を発見できる。
- (2) 日英間の相違に基づいて研究課題を設定できる。
- (3) 日英の異なる言語的振る舞いを認知的要因に求めるながら、統一的説明が可能な仮説をたてることができる。
- (4) 仮説を論理的に検証できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	(1) 20% (2) 10% (3) 35% (4) 35%
上記以外	50	(1) 20% (2) 10% (3) 35% (4) 35%

4回以上欠席したものは、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、関連論文等の資料を配付する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

言語学に関する英文の論文が読めること。

履修資格

講義名	日英対照言語学特論							担当教員	小熊 猛
講義コード	1810530	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571LAC504								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーションと導入	形式と意味
第2回	態と情報構造(1)	
第3回	態と情報構造(2)	
第4回	迷惑受け身(1)	Contrastive Behavior between Japanese and English
第5回	迷惑受け身(2)	Contrastive Behavior between Japanese and English
第6回	動詞枠付け vs. 衛星枠付け類型論(1)	Contrastive Behavior between Japanese and English
第7回	動詞枠付け vs. 衛星枠付け類型論(2)	Contrastive Behavior between Japanese and English
第8回	二重主語構文	
第9回	身体接触を表す構文	
第10回	関係節(1)	A Type of Noun-Modification that English Disallows (e.g., Sanma=no yakeru nioi)
第11回	関係節(2)	Intriguing Case-particle Alternation (e.g., Boku={ga/no} katta hon)
第12回	授受構文(1)	'V-teageru,' 'V-tekureru,' 'V-temorau'
第13回	授受構文(2)	'V-teageru,' 'V-tekureru,' 'V-temorau'
第14回	目的語を表すカ格	Japanese Case-particle 'ga' Referring Grammatical Objec
第15回	格助詞の非標準的使用	e.g. ~二隠れて、~ヲ乗る
担当者から一言		

講義名	英文学特論							担当教員	山本 薫
講義コード	1810540	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571LAC505								

授業概要

文学作品は自分の好きなように自由に読んでも十分楽しめるものかもしれないが、作品のおもしろみを生む「仕組み」や「仕掛け」を知るとその楽しみがさらに増す場合がある。とりわけ近年は、従来の固定観念にとらわれず文学作品を様々な切り口で読むことが可能である。この授業では、文学批評の入門書を精読しながら、まず英文学についての基礎知識を養い、文学作品を読み論じる上で必要な概念を理解する。そして、その概念を応用してより深い作品読解を試みる。最終的には、自分の読みが自己満足的な読みで終わらないために、議論と発表を通して自分の読みを他者と共有するという作業も試みる。

到達目標

- (1) 文学批評の入門書を精読しながら、英文学についての基礎知識を養い、文学作品を読み論じる上で必要な概念を理解する。
- (2) 上記の概念を応用して受講者が独自の作品読解を試みる。
- (3) 自分の読みが自己満足的な読みで終わらないために、議論と発表を通して自分の読みを他者と共有するという作業も試みる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0	なし
レポート課題	40	各自が選んだ文学作品についてエッセイにより、授業で学んだ鍵概念がどれだけ理解できているか、および、どれだけ自分の読みを試みているかを評価する。
上記以外	60	予習の達成度、授業中の発表内容により、授業で学んだ鍵概念がどれだけ理解できているか、および、どれだけ自分なりの読み方を形成できているかを評価する。

特別な理由がある場合を除いて、4回以上遅刻・欠席したものは評価の対象としない(遅刻・欠席回数合わせて4回に達した時点で試験を受ける資格を失う)。予習ができていない場合は出席点は与えられない。

授業外学習

受講者は授業中に指示するテキストを読んだうえで議論し、発表を行わねばならない。予習は不可欠である。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示する。必要なテキストはプリントして配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	An Introduction to Literature, Criticism and Theory	Andrew Bennett & Nicholas Royle	Longman	978-1-4058-5914-1
2				
3				

授業中に指示する。

前提学力等

基本的な英語読解能力が必要です。

履修資格

講義名	英文学特論							担当教員	山本 薫
講義コード	1810540	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571LAC505								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	導入	授業全体の導入として、テキスト'The beginning'を読み、一見自明に思える文学作品の「始まり」を改めて考える。
第2回	作者と読者	テキスト'The author'、'Readers and reading'を読み、作者・読者概念の変遷をたどる。
第3回	テキストと世界	テキスト'The text and the world'を読み、ことばと世界の関係についての議論の変遷をたどりながら、ことばと世界関係を改めて考える。
第4回	物語と登場人物	'Narrative'(物語)、『Character』、『Voice』を読み、作品の持つさまざまな「声」について考える。
第5回	比喩	'Figures and Tropes'を読み、文学作品を読む際に、登場人物や出来事以外の手掛かりとなる比喩を理解する。
第6回	歴史	'History'を読み、フィクション(虚構)と歴史的現実の関係について考える
第7回	「私」	'Me'を読み、物語を読む際に我々が当たり前のもので受け入れている「私」の意志や「私」の行動とその責任や結果という概念の変遷を辿り、それらについて考える。
第8回	環境と動物	'Eco'、『Animals』を読み、人間中心の世界観に支配されてきた物語理解を問い直す。
第9回	性差、植民地と人種	'Sexual difference'、『Racial difference』、『The colony』を読み、性差の問題の変遷を辿り、英語で書かれた英語圏の物語を読むうえで無視できない植民地と人種の問題について考える。
第10回	神	'God'を読み、物語世界における「神」のごとき作者あるいは語り手の視点という概念の変遷を辿る。
第11回	イデオロギー	'Ideology'を読み、普段は意識しないが我々が属する社会において支配的な「イデオロギー」が文学作品読解にどう影響するかを考える。
第12回	サスペンス	'Suspense'を読み、推理小説等の面白さを生む要素の一つであるサスペンスについて考える。
第13回	パフォーマンス	'The performative'を読み、文学作品の中で記述される登場人物の行為という意味でのパフォーマンスと、文学作品そのものに可能な「行為」という意味でのパフォーマンスについて考える。
第14回	「終わり」	'The end'を読みながら、文学作品の「終わり」について考えながら、全体のまとめを試みる。
第15回	発表	これまでの学んだ鍵概念を用いて、自分の読みを披露し、議論を行う。

担当者から一言

講義名	国際文化論特講A							担当教員	吉村 淳一
講義コード	1810550	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571WOC501								

授業概要

この授業では言語接触によってドイツ語がどのように変化してきたかについて概観する。その際に、音韻・形態・統語・意味などさまざまなレベルでの言語変化を対象とし、いくつかの具体的な事象を取り上げる。さらにそれらに関する研究例を通じて言語学的アプローチの仕方を学ぶ。

到達目標

(1) 言語現象を様々なレベルで分析する方法を身につけることができる。(2) 言語学的な視点に立って問題提起を行い、資料収集することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	(1)と(2)についてはレポートの成績に基づいて評価する。
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

常に問題意識をもちながら、取り組んでください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリントを配布します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜紹介します。

前提学力等

現代ドイツ語について十分な知識があること。

履修資格

講義名	国際文化論特講A							担当教員	吉村 淳一
講義コード	1810550	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571WOC501								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	授業の説明
第2回	インド・ヨーロッパ語族	印欧語研究とアプローチの仕方
第3回	ゲルマン語派	西ゲルマン語・北ゲルマン語・東ゲルマン語
第4回	古高ドイツ語(1)	ドイツ語の時代区分・古高ドイツ語の言語的特徴
第5回	古高ドイツ語(2)	言語資料と研究例
第6回	中高ドイツ語(1)	言語的特徴
第7回	中高ドイツ語(2)	言語資料と研究例
第8回	中高ドイツ語(3)	言語資料と研究事例
第9回	中高ドイツ語(4)	言語資料と研究事例
第10回	初期新高ドイツ語(1)	言語的特徴
第11回	初期新高ドイツ語(2)	言語資料と研究事例
第12回	初期新高ドイツ語(3)	言語資料と研究事例
第13回	新高ドイツ語(1)	言語的特徴
第14回	新高ドイツ語(2)	言語資料と研究事例
第15回	現代ドイツ語	言語資料と研究事例

担当者から一言

知識を身につけると言うよりは、研究対象へのアプローチの仕方を学んでください。

講義名	国際文化論特講C							担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1810570	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571WOC503								

授業概要

インドヒマラヤのチベット社会についての文化人類学的研究を紹介する。その中で、フィールドワークの技法や文化人類学の理論について述べる。

到達目標

チベット社会への理解を深める。
フィールドワークの実際について学ぶ。
文化人類学の理論やタームについて習熟する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業における発表状況によって評価する。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	インドヒマラヤのチベット世界	棚瀬慈郎	明石書店	4750315044
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	国際文化論特講D							担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1810580	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571WOC504								

授業概要

いわゆるモンゴル系の民族集団は、モンゴル国のみならず、ロシア（カルムイク共和国、ブリヤート共和国）中国（内モンゴル自治区、青海省、新疆ウイグル自治区）の3カ国に分散居住している。モンゴル・ディアスポラ（離散民族）の特徴は、ホームランドに居住しながらにして、故郷に対する喪失感を持っているところにあるといえる。本講義では、こうしたモンゴル系集団のディアスポラの状況に至る歴史と現代的諸相を中国領モンゴル族とモンゴル国の関連など関連事項を踏まえながら考察する。

到達目標

国境にまたがる民族としてのモンゴル系諸族のディアスポラの状況を歴史・文化的側面から理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	課された課題を提出することやその内容によって評価
上記以外	50	出席状況と授業中の積極的な姿勢などによる評価

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

ボルジギン・ブレンサイン編著『内モンゴルを知るための60章』明石書店、2015年7月

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	国際文化論特講D							担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1810580	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571WOC504								

授業計画		
------	--	--

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	国境にまたがる「モンゴル世界」が抱える問題点を紹介
第2回	「内・外モンゴル」の分離課程	「外モンゴル」と呼ばれていたモンゴル国と内モンゴル地域の分離課程を講義
第3回	モンゴル国にとっての内モンゴル	独立国家であるモンゴル国にとって中国領となっている内モンゴルはどのような存在なのかを講義する。
第4回	内モンゴルにとってのモンゴル国	中国の少数民族自治区となっている内モンゴルにとってモンゴル国はどのような存在なのかを講義する。
第5回	中国における民族識別作業(1)	現代中国における民族識別作業のプロセスを考察する。
第6回	中国における民族識別作業(2)	現代中国における民族識別作業のプロセスを考察する。
第7回	中ソ関係と「モンゴル問題」(1)	「モンゴル」は中国とロシア両大国に挟まれており、中露関係と「モンゴル問題」の関連性を講義する。
第8回	中ソ関係と「モンゴル問題」(2)	「モンゴル」は中国とロシア両大国に挟まれており、中露関係と「モンゴル問題」の関連性を講義する。
第9回	日中関係と「モンゴル問題」(1)	近代日本と「モンゴル」は密接な関係を持つ。しかし、それは日中関係とも連動しており、その三角関係を考察する。
第10回	日中関係と「モンゴル問題」(2)	近代日本と「モンゴル」は密接な関係を持つ。しかし、それは日中関係とも連動しており、その三角関係を考察する。
第11回	中蒙関係における内モンゴル(1)	中国とモンゴル国との国家関係に挟まれている内モンゴルの特殊性について講義。
第12回	中蒙関係における内モンゴル(2)	中国とモンゴル国との国家関係に挟まれている内モンゴルの特殊性について講義。
第13回	中国の経済発展と「モンゴル」(1)	急激に経済発展を続ける中国にとってモンゴル国と内モンゴル地域はどのような位置づけにあるのかを講義する。
第14回	中国の経済発展と「モンゴル」(2)	急激に経済発展を続ける中国にとってモンゴル国と内モンゴル地域はどのような位置づけにあるのかを講義する。
第15回	まとめる	講義をまとめる

担当者から一言

講義名	国際文化論特講E							担当教員	島村 一平
講義コード	1810590	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571WOC505								

授業概要

【内陸アジア文化人類学の最前線】

本講義では、モンゴルを含めた内陸アジアの社会・文化人類学研究の最前線を講じていく。かつてソ連やモンゴル人民共和国など、社会主義を標榜していた当該地域は、市場経済化や民主化といった政治経済的な変化のみならず、さまざまな文化・社会的転回を経験してきた。そうした中、この地域を巡る文化・社会人類学的研究は、ポスト社会主義の遊牧に関する生態・環境人類学的研究や宗教復興あるいは活性化（シャーマニズムや仏教、イスラームなど）などの問題を中心にさまざまな議論が展開されてきた。本講義では、こうした最前線の議論を紹介しながら、議論をしていくという形をとる。英語を含めた指定文献を読むことが必要となろう。

到達目標

内陸アジア文化人類学の最前線を知ることができる。
単なる事実にとどまらず、概念化（理論化）の手法を学ぶことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	
上記以外	50	発表を課すものとする。

レポートと発表で評価するものとする。

授業外学習

指定された文献やレジュメを読んでから、授業に参加することが望ましい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

毎回、レジュメを配布する。

前提学力等

社会・文化人類学の基礎理論を理解していることが望ましい。

履修資格

講義名	国際文化論特講F							担当教員	河 かおる
講義コード	1810600	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571WOC506								

授業概要

韓国・朝鮮近現代の歴史や社会、マイノリティー問題、ジェンダー論など、担当教員(河)の研究分野と、受講生の研究分野との接点を見いだして、授業で読み合わせる学術論文を決め、受講生が担当した学術論文の内容を要約して発表・論評し、全員で討論する形式で進める。

到達目標

自分が専門外とする分野であっても学術的な論文を正確に読み解き、他者の研究を的確に論評する力を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	課題報告および討論への参加

授業外学習

指定した学術論文を必ず精読してくること。発表の準備をすること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	国際文化論特講F						担当教員	河 かもる	
講義コード	1810600	単位数	2	開講期	前期	授業種別			講義
ナンバリング番号	571WOC506								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	受講生の顔合わせ
第2回	知識の確認、疑問点の洗い出しのためのグループ・ワーク	
第3回	関連ドキュメンタリー視聴(1) 内容に関する討論	
第4回	関連ドキュメンタリー視聴(2) 内容に関する討論	
第5回	テキストに基づいた報告・討論(1)	
第6回	テキストに基づいた報告・討論(2)	
第7回	テキストに基づいた報告・討論(3)	
第8回	中間まとめ	
第9回	テキストに基づいた報告・討論(4)	
第10回	テキストに基づいた報告・討論(5)	
第11回	テキストに基づいた報告・討論(6)	
第12回	テキストに基づいた報告・討論(7)	
第13回	テキストに基づいた報告・討論(8)	
第14回	テキストに基づいた報告・討論(9)	
第15回	まとめ	
担当者から一言		

講義名	国際文化論特講G							担当教員	地蔵堂 貞二
講義コード	1810610	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571WOC507								

授業概要

本講義のテーマは中国語の白話史である。現代中国語に繋がる白話は唐末・五代の資料からまとまってみられるようになる。授業では唐末・五代、宋代、元代、明代、清代のそれぞれの時代を代表する白話文献（主に明清白話小説）を解説するとともに、作品の一部を講読する。

到達目標

- (1) 白話小説（四大奇書・五大小説）に関する理解を深めることができる。
- (2) 近代漢語で著された文献が専門的辞書を傍らに置きつつも読み進めることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	到達目標(1)について、記述試験を行う。(50%)
レポート課題	50%	到達目標(2)について、作品を指定し、日本語訳の提出を求める。(50%)
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストは使用しない。プリント等を適宜配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書については授業中に適宜紹介する。

前提学力等

中国語学習歴があることが望ましい。

履修資格

講義名	国際文化論特講G							担当教員	地蔵堂 貞二
講義コード	1810610	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571WOC507								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	中国語の時代区分について	古代漢語、近代漢語と現代漢語の区分
第2回	文言と白話	(1) 文言と白話の違い (2) 白話の特徴
第3回	白話小説の萌芽 ()	俗講と敦煌変文について
第4回	白話小説の萌芽 ()	瓦舎と説話について
第5回	四大奇書と五大小説	『三国演義』 『西遊記』 『水滸伝』 『金瓶梅』 と 『紅樓夢』 について
第6回	『三国演義』 について	正史 『三国志』 と話本 『三国志平話』 について
第7回	『西遊記』 について	(1) 玄奘の 『大唐西域記』 と話本 『大唐三蔵取経詩話』 について (2) 作者と淮安方言について
第8回	『西遊記』 講読	100回本 『西遊記』 の一節を読む。
第9回	『水滸伝』 について	(1) 正史 『宋史』 と話本 『大宋宣和遺事』 (2) 作者と吳方言について
第10回	『水滸伝』 講読	100回本 『水滸伝』 の一節を読む。
第11回	『金瓶梅』 について	(1) 『水滸伝』 と 『金瓶梅』 の関係について (2) 作者と山東方言について
第12回	『金瓶梅』 講読	100回本 『金瓶梅』 の一節を読む。
第13回	『紅樓夢』 について	(1) 80回本と120回本について (2) 作者と北京方言について
第14回	『紅樓夢』 講読	80回本 『紅樓夢』 の一節を読む。
第15回	言語の史的研究について	(1) 同時資料と後時資料について (2) 版本分化について
担当者から一言		

講義名	国際文化論特講H							担当教員	呉 凌非
講義コード	1810620	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	571WOC508								

授業概要

本講義は滋賀県立大学大学院生を対象としています。キーワードは、言語、翻訳、異文化接触の3つをあげることができます。言語については、言語学の基礎理論や、格文法、モダリティの比較などの内容について講義します。翻訳については、人間と機械の翻訳を比較しながら講義を展開していきます。異文化接触については、そのメカニズムそしてことばに現れる様相などについて講義します。

到達目標

- (1) 言語学および関連基礎知識を習得すること
- (2) 翻訳学および関連基礎知識を習得すること
- (3) 異文化接触について理解すること
- (4) レポートを提出すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	(1) 言語学および関連基礎知識を習得すること 15% (2) 翻訳学および関連基礎知識を習得すること 15% (3) 異文化接触について理解興味を持つこと 15%
レポート課題	40%	(1) 授業中の発表がメイン 30% (2) 出席 10%
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	地域文化学特別演習（国際・1年次）						担当教員 専攻教員 / 小栗 裕子 / 河 かおる / 小熊 猛 / 呉 凌非 / 島村 一平 / 地藏堂 貞二 / John Rippey / 棚瀬 慈郎 / 橋本 周子 / Borjigin Burensain / 山本 薫 / 吉村 淳一	
講義コード	1810630	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別		演習
ナンバリング番号	571REG601							

授業概要

西欧やアジアにおける歴史や文化、言語などについて、各学問領域における研究の成果を把握し、自らの学問的なテーマを深めてゆくことをねらいとする。
そのために、文献購読や研究成果の発表などをおこない、研究手段に関する理解や専門知識の習得をはかる。

到達目標

修士論文の作成において欠かせない専門的な知識や学問的な方法論を習得する。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	文献購読や研究発表への参加、討論の状況や報告内容について総合的に評価する。

文献購読や研究発表への参加は原則毎回出席しなければならない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

指導する教員の指示による。

前提学力等

履修資格

講義名	地域文化学特別演習（国際・2年次）						担当教員 専攻教員 / 小栗 裕子 / 河 かのる / 小熊 猛 / 呉 凌非 / 島村 一平 / 地藏堂 貞二 / John Rippey / 棚瀬 慈郎 / 橋本 周子 / Borjigin Burensain / 山本 薫 / 吉村 淳一	
講義コード	1810640	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別		演習
ナンバリング番号	571REG601							

授業概要

修士論文の完成に向けて、各自の研究成果の発表や、その内容についての討論を中心におこなう。

到達目標

自らの研究内容を批判的に検討し、高い学問的水準を保ち、独創性のある修士論文を完成させる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	文献購読や研究発表への参加、討論の状況や報告内容について総合的に評価する。

研究発表会への参加は必須とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

指導する教員の指示による。

前提学力等

履修資格

講義名	地域文化学特別研究（国際・1年次）						担当教員 専攻教員 / 小栗 裕子 / 河 かおる / 小熊 猛 / 呉 凌非 / 島村 一平 / 地藏堂 貞二 / John Rippey / 棚瀬 慈郎 / 橋本 周子 / Borjigin Burensain / 山本 薫 / 吉村 淳一	
講義コード	1810650	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別		演習
ナンバリング番号	571REG602							

授業概要

各自のテーマに応じて、研究の遂行に関わる基本的な事項（研究計画の立案、調査手法、作業仮説の設定、データの収集と解析、問題の明確化と整理の手法、論文の作成など）を指導する。

到達目標

(1) 修士論文の完成に向けて、学問的な方法論を身に付ける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	研究手法の習得状況にしたがって、各指導教員が総合的に判断する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	地域文化学特別研究（国際・2年次）						担当教員 専攻教員 / 小栗 裕子 / 河 かおる / 小熊 猛 / 呉 凌非 / 島村 一平 / 地藏堂 貞二 / John Rippey / 棚瀬 慈郎 / 橋本 周子 / Borjigin Burensain / 山本 薫 / 吉村 淳一	
講義コード	1810660	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別		演習
ナンバリング番号	571REG602							

授業概要

修士論文の完成に向けて、研究の具体的な進め方について指導する。

到達目標

(1)学術的にレベルの高い修士論文をまとめるための能力を身につけることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各自の習得状況にしたがって、指導教員が総合的に判断する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	生活デザインプロジェクト演習						担当教員 専攻教員 / 印南 比呂志 / 面矢 慎介 / 佐々木 一泰 / 藤木 庸介 / 南 政宏 / 宮本 雅子 / 森下 あおい / 山田 歩 / 横田 尚美	
講義コード	1820045	単位数	2	開講期	後期	授業種別		演習
ナンバリング番号	577LVD501							

授業概要

地域や社会において、よりよい生活環境を実現するために何が問題なのかを明らかにする。その問題に対して取り組む意識や立場、有効な手法を議論し、その解決方法を検討し、具体的な提案や発表、制作等を行う。

到達目標

地域、社会に関わる問題について専門的視点から分析、考察し、解決・提案できる総合的な生活デザイン能力の習得をめざす

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	レポート・制作物等の提出、発表などにもとづき、学科教員全員の協議により評価する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業時間内に適宜紹介

前提学力等

履修資格

講義名	生活文化学特別演習（デザイン・1年次）						担当教員 専攻教員 / 印南 比呂志 / 面矢 慎介 / 佐々木 一泰 / 藤木 庸介 / 南 政宏 / 宮本 雅子 / 森下 あおい / 山田 歩 / 横田 尚美	
講義コード	1820050	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別		演習
ナンバリング番号	577LVD601							

授業概要

各自の専攻する分野にしたがって、文献購読やセミナー形式での報告・討論・評価を行い研究遂行上の必要な専門知識、技術の深化と関連知識の拡大をはかる。

到達目標

研究遂行上の必要な専門知識、技術を身につける

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	中間発表会での発表、途中の進捗状況、レポート・制作物等によって評価する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業時間内に適宜紹介する

前提学力等

履修資格

講義名	生活文化学特別演習（デザイン・2年次）						担当教員 専攻教員 / 印南 比呂志 / 面矢 慎介 / 佐々木 一泰 / 藤木 庸介 / 南 政宏 / 宮本 雅子 / 森下 あおい / 山田 歩 / 横田 尚美	
講義コード	1820060	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別		演習
ナンバリング番号	577LVD601							

授業概要

各自の専攻する分野にしたがって、文献購読やセミナー形式での報告・討論・評価を行い研究遂行上の必要な専門知識、技術の深化と関連知識の拡大をはかる。

到達目標

研究遂行上の必要な専門知識、技術を身につける

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	途中の進捗状況、レポート・口頭発表・制作物等によって評価する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業時間内に適宜紹介する

前提学力等

履修資格

講義名	生活文化学特別研究（デザイン・1年次）							担当教員 専攻教員 / 印南 比呂志 / 面矢 慎介 / 佐々木 一泰 / 藤木 庸介 / 南 政宏 / 宮本 雅子 / 森下 あおい / 山田 歩 / 横田 尚美
講義コード	1820070	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	研究	
ナンバリング番号	577LVD602							

授業概要

各自の専攻する分野にしたがって、文献購読やセミナー形式での報告・討論・評価を行い研究遂行上の必要な専門知識、技術の深化と関連知識の拡大をはかる。

到達目標

研究遂行上の必要な専門知識、技術を身につける

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	中間発表会での発表、途中の進捗状況、レポート・口頭発表・制作物等によって評価する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業時間内に適宜紹介する

前提学力等

履修資格

講義名	生活文化学特別研究（デザイン・2年次）							担当教員 専攻教員 / 印南 比呂志 / 面矢 慎介 / 佐々木 一泰 / 藤木 庸介 / 南 政宏 / 宮本 雅子 / 森下 あおい / 山田 歩 / 横田 尚美
講義コード	1820080	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	研究	
ナンバリング番号	577LVD602							

授業概要

各自の研究テーマに応じて、研究計画の立案、調査、実験、実証技術の習得、作業仮説の設定、データ収集と解析と評価、問題の明確化と整理の手法、論文・作品の作成など研究の遂行に関わる基本的事項について指導する。

到達目標

修士論文・修士制作の完成

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	提出された論文・作品が、修士研究の水準にあるかどうかを判断し合否判定を行う。研究の成果として制作物を提出することもできる。詳細は修士研究審査基準に関する内規による

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業時間内に適宜紹介する

前提学力等

履修資格

講義名	道具デザイン特論A							担当教員	面矢 慎介
講義コード	1820105	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	577TLD501								

授業概要

道具デザインに関する専門的かつ理論的知見を深めるために、主として近代から現代にいたる生活用具および生活機器のデザイン変遷について、いくつかの事例を選び、その技術的、経済的、社会的、文化的背景からの分析・評価をおこなう。関連資料の探索・収集、資料批判、実物資料（最終製品）の実見のほか、ときにはメーカー関係者やデザイナーからの聞き取り、その道具の使用実態の調査などを含む。

到達目標

道具デザインに関する専門的かつ理論的知見を深める。そのために探索した資料からの構造化について習熟する。（１）自分でテーマを探索し決定できる。（２）テーマに沿った資料探索ができる。（３）資料にもとづいた中間報告ができる。（４）各資料を関係づけその相互関係を構造化できる。（５）資料調査にもとづいた考察を文章にまとめができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	80	最終レポート
上記以外	20	授業中の発表

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	The Social Construction of Technological Systems	Bijker, Hughes, and Pinch	MIT Press	
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	道具デザイン特論A							担当教員	面矢 慎介
講義コード	1820105	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	577TLD501								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	授業計画と方針の説明
第2回	各自研究テーマの探索	各自研究テーマの探索
第3回	各自研究テーマの探索	各自研究テーマの探索
第4回	研究テーマ決定	資料探索方針づくり
第5回	探索資料の持ち寄りと発表	探索資料の持ち寄りと発表
第6回	探索資料の持ち寄りと発表	探索資料の持ち寄りと発表
第7回	探索資料の持ち寄りと発表	探索資料の持ち寄りと発表
第8回	中間報告と評価	中間報告と評価
第9回	資料の構造化の方法について	資料の構造化の方法について
第10回	資料からの構造化	資料からの構造化
第11回	資料からの構造化	資料からの構造化
第12回	各自テーマごとの報告	各自テーマごとの報告
第13回	各自テーマごとの報告	各自テーマごとの報告
第14回	報告書作成 / 製本	報告書作成 / 製本
第15回	最終発表と全体講評	最終発表と全体講評

担当者から一言

講義名	道具デザイン特論B							担当教員	印南 比呂志
講義コード	1820115	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	577TLD502								

授業概要

日本国内の様々な地域活動や地場産業、アジア、欧州における事例を参考にしながら進める。そして、その製品の歴史、市場、変遷、社会的価値についてさまざまな視点から考察を試みる。また、ものづくりとしての製品開発における企画設計プロセス、市場での製品流通やマネジメントに至るまでの実際を学ぶ。講義を通じて、以上の趣旨を理解しかつ道具デザインのための資源発掘や、課題解決に関する方針・計画・ノウハウなどについて理解を図る。

到達目標

- ・道具のデザイン開発者の基本姿勢やねらいの持ち方を、地域の課題と関連づけて理解できる。
- ・個別の道具紹介事例における、資源発掘、課題発見及び課題解決のプロセスが理解できる。
- ・自身の生活環境における道具デザイン上の課題について、学究的な視点により考察していく能力をつける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	80	最終レポート課題による評価20%、中間発表の評価60%
上記以外	20	フィールド調査課題

授業外学習

ローカルな地域産業や、海外の地域的な産業を注視しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	複製技術の時代の芸術	ヴァルター・ベンヤミン	晶文社	978-4794912664
2	インダストリアルデザインの歴史	ジョン・ヘスケット	晶文社	4-7949-56888-6
3				

前提学力等

履修資格

講義名	道具デザイン特論B						担当教員	印南 比呂志	
講義コード	1820115	単位数	2	開講期	後期	授業種別			講義
ナンバリング番号	577TLD502								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	地域資源を活かす道具デザインの視点について
第2回	道具デザイン活動の今・1	産官学連携について考える
第3回	道具デザイン活動の今・2	知的所有権について考える
第4回	道具デザイン活動の今・3	製造業、メーカーのモラルについて考える
第5回	道具デザイン活動の今・4	地域産業、伝統産業について考える
第6回	伝統工芸による道具デザイン・1	自然環境、宗教、地域
第7回	伝統工芸による道具デザイン・2	伝産法、伝統工芸士
第8回	伝統工芸による道具デザイン・3	絶滅危惧種の職人と技術
第9回	伝統工芸による道具デザイン・4	フェアトレード、社会制度
第10回	道具のブランドデザインについて ・1	商標、広告、CI、パッケージ
第11回	道具のブランドデザインについて ・2	商品開発、流通
第12回	道具のブランドデザインについて ・3	第六次産業的視点
第13回	道具のブランドデザインについて ・4	観光、お土産
第14回	道具デザインのイデオロギー	エコロジー、地産地消、ユニバーサルデザインなど
第15回	道具デザインについての総論とまとめ	討論
担当者から一言		

講義名	道具デザイン特論C							担当教員	南 政宏
講義コード	1820117	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	577TLD503								

授業概要

多様化しつつあるデザインの役割への知識を深める。デザインによって解決される問題について掘り下げを行い、デザインに求められる現実的なテーマを設定し、商品企画、パッケージ、ブランディング、デザイン、流通など実践的なデザインテーマを通しての分析・考察・提案を行なう。

到達目標

調査から問題を見つけ出し、デザイン手法を用いた問題発見能力、問題解決能力、提案能力、表現力などを習得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	中間発表と、最終成果物

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	特になし			
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	道具デザイン特論C							担当教員	南 政宏
講義コード	1820117	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	577TLD503								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	オリエンテーション 問題解決型デザインについて
第2回	課題とするテーマの模索	テーマを各自で模索する
第3回	課題とするテーマの決定	テーマを相談し決定する。
第4回	課題のリサーチ	課題の調査を行う
第5回	課題のリサーチ	課題の調査を行う
第6回	課題のリサーチ	課題の調査を行う
第7回	課題のリサーチ中間発表	調査の中間発表
第8回	デザインによるソリューションの考察	デザインによるソリューションを検討する。
第9回	デザインによるソリューションの考察	デザインによるソリューションを検討する。
第10回	デザインによるソリューションの考察	デザインによるソリューションを検討する。
第11回	商品企画、パッケージ、ブランディング提案	商品企画、パッケージ、ブランディングについて検討する。
第12回	商品企画、パッケージ、ブランディング提案	商品企画、パッケージ、ブランディングについて検討する。
第13回	商品企画、パッケージ、ブランディング提案	商品企画、パッケージ、ブランディングについて検討する。
第14回	企画のプレゼンテーション準備	企画のプレゼンテーション準備
第15回	プレゼンテーション 道具デザインについてのまとめ	最終発表 まとめ
担当者から一言		

講義名	服飾デザイン特論A							担当教員	森下 あおい
講義コード	1820135	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	577FSD501								

授業概要

この講義では感性表現としての服飾デザインのありように着目し、事例についての考察を行う。特に20世紀の服飾デザインの作品を対象として、デザインと社会背景、人の感性との関係から、服飾デザインを考察する。後半では各自が設定した作品、テーマを調査する。

到達目標

- (1) 感性表現としての服飾の分析手法を理解する
- (2) 服飾デザインにおけるテーマについて論理的に分析する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	課題に対して自らが適切なテーマを設定し考察を行う
上記以外	50	分析的視点で意見をまとめる

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業でプリントを配布します

前提学力等

履修資格

講義名	服飾デザイン特論B							担当教員	横田 尚美
講義コード	1820136	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	577FSD502								

授業概要

服飾とからだの関わりに関する研究を進めるのに必要な文献を講読して、研究の基礎となる知識を得るとともに、その背景を理解する。服飾の現物史料の展示を見学し、文献以外の資料を用いた服装史研究についても関心を持たせる。博士論文が基になった文献を購読することにより、論文の構成や書き方などの手法を学ぶ。

到達目標

- (1) 『みっともない人体』の内容について理解し、論じることができる。
- (2) 『学校制服の文化史』の内容について理解し、論じることができる。
- (3) 衣装展の意義や衣装の保存修復の意義を理解し関心を持てる。
- (4) 論文をまとめる力が向上する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	(4)については、1～2回程度のレポートで評価する。
上記以外	50	(1)(2)(3)については、それぞれのテーマについての発表内容と授業態度により、評価する。

授業外学習

ほぼ毎回、分担分を読み、要旨をまとめる。それを授業内で、発表する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	みっともない人体	パーナード・ルドフスキー	鹿島出版会	4-306-04109-3
2	学校制服の文化史	難波知子	創元社	978-4-422-21014-8
3				

『みっともない人体』は、3回目までに購入しておくこと。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	服飾デザイン特論B							担当教員	横田 尚美
講義コード	1820136	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	577FSD502								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	授業の概要を説明する。
第2回	京都服飾文化研究財団見学	ギャラリーと補修室を見学し、現物史料の価値を学ぶ。
第3回	『みっともない人体』1	まえがきと序文、第1章を購読し、それ以降の進め方を理解する。
第4回	『みっともない人体』2	第2章について発表し、検討し合う。
第5回	『みっともない人体』3	第3章について発表し、検討し合う。
第6回	『みっともない人体』4	第4章について発表し、検討し合う。
第7回	『みっともない人体』5	第5章について発表し、検討し合う。
第8回	『みっともない人体』6	第6章について発表し、検討し合う。
第9回	『みっともない人体』7	第7章について発表し、検討し合う。
第10回	『みっともない人体』8	第8章について発表し、検討し合う。
第11回	『みっともない人体』9	第9章について発表し、検討し合う。
第12回	『みっともない人体』10	第10章について発表し、検討し合う。
第13回	『学校制服の文化史』1	明治時代について、発表し、検討し合う。
第14回	『学校制服の文化史』2	大正時代について、発表し、検討し合う。
第15回	『学校制服の文化史』3	昭和時代について、発表し、検討し合う。

担当者から一言

服飾デザインを扱うという性質上、世界情勢やトレンドにより、内容を変更して時機に応じた内容を取り上げることがある。

講義名	マーケティング特論						担当教員	山田 歩	
講義コード	1820137	単位数	2	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	577MKD501								

授業概要

生活者のニーズや行動傾向を観察・分析することを通して、製品やサービスの価値をどのように高めることができるのか、あるいは、どのように高めるべきなのかを考える。文献講読のほか、製品・サービスの利用実態調査や消費者行動実験を行うことによって、既存製品・サービスの問題の発見、より良い製品・サービスの提案を行う。

到達目標

マーケティング分野における問題発見能力と問題解決能力を習得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	課題を適切に捉えているか。 発想にオリジナリティがあるか。 わかやすく、また、ロジカルに考えを表現できているか。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	マーケティング特論						担当教員	山田 歩	
講義コード	1820137	単位数	2	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	577MKD501								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	課題の検討	演習のオリエンを行う。
第2回	課題の検討	過去の「販促会議企画コンペティション」の課題を検討する。
第3回	課題の検討	「販促会議企画コンペティション」の応募課題を検討する。
第4回	発表	応募作品の案出しと制作。
第5回	発表	応募作品の案出しと制作。
第6回	発表	応募作品の案出しと制作。
第7回	発表	応募作品の案出しと制作。
第8回	課題の検討	リサーチ課題のテーマを検討する。
第9回	課題の検討	リサーチ課題のテーマを検討する。
第10回	調査の設計	調査の設計をする
第11回	調査の準備	調査の準備をする。
第12回	調査の準備	調査の準備をする。
第13回	調査の実施	調査を実施する。
第14回	調査結果の分析	調査結果の分析を行う。
第15回	発表	発表する。
担当者から一言		

講義名	栄養機能科学特論							担当教員	吉田 宗弘 / 石原 健吾 / 河合 崇行 / 吉村 徹
講義コード	1820160	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	572NUT525								

授業概要

生物界に存在する栄養素と非栄養成分の生体調節機構を最新情報を交えて解説する。

到達目標

生物界には栄養素だけでなく、有用な非栄養成分もあることを理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	67	講義毎のレポートにて到達目標の理解度を評価する。
上記以外	33	小テストにて到達目標の理解度を評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

毎回参考となるプリントを配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	栄養機能科学特論							担当教員	吉田 宗弘 / 石原 健吾 / 河合 崇行 / 吉村 徹
講義コード	1820160	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	572NUT525								

授業計画		
------	--	--

回数	タイトル	概要
第1回	多量ミネラル	多量ミネラルの役割を理解する。
第2回	微量ミネラル	微量ミネラルの役割を理解する。
第3回	味が示す栄養素	味を理解する仕組みと栄養素との関係について理解する。
第4回	味の錯覚と錯覚を利用した食品	塩による甘味増強や不均一性構造による味の錯覚について理解する。
第5回	塩味の重要性和減塩食の設計	塩味のもつ機能と、種々の減塩手法・減塩素材について理解する。
第6回	ビタミンと補酵素（ビタミン B1, B2, B6, B12）	ビタミンの役割について理解する。
第7回	ビタミンと補酵素（ナイアシン、パントテン酸、葉酸、ビオチン）	ビタミンの役割について理解する。
第8回	微生物と栄養機能（タンパク質）	微生物と栄養機能の関係について理解する。
第9回	微生物と栄養機能（糖質）	微生物と栄養機能の関係について理解する。
第10回	微生物と栄養機能（脂質）	微生物と栄養機能の関係について理解する。
第11回	食の機能性と健康食品の現状・課題	食の機能性と健康食品の現状・課題について理解する。
第12回	冷えについて	冷えに関する最近の知見について理解する。
第13回	トウガラシについて	トウガラシに関する最近の知見について理解する。
第14回	酵素法を用いた合成の基礎と、機能性成分の合成	酵素法を用いた合成の基礎と機能性成分の合成について理解する。
第15回	食品中の辛味化合物と生理作用	食品中の辛味化合物と生理作用について理解する。
担当者から一言		

講義名	栄養教育特論							担当教員	廣瀬 潤子
講義コード	1820170	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	572NUT516								

授業概要

健康の維持増進、疾病の発症には、栄養、運動、休養のバランスならびに、遺伝要因・環境要因・加齢が関連しながら深くかかわっている。ヒトの一生における小児期、青年期、壮年期、高齢期等それぞれのライフステージに応じた、また、様々なライフスタイルの対象にふさわしい健康管理の把握とすでに学習した知識の統合能力を基盤に栄養教育のあるべき姿を修得する。ヘルスプロモーションは、ひとびとが健康を得ることで幸福な人生を送れるようにとの願いから作られた概念、健康増進にかかわる一連の活動や理論の総称である。今、何故子どもたちにヘルスプロモーションが必要であるかを、各ライフステージにおける生活習慣病モデルシミュレーションの講義を行い、そこから各人のテーマを決定し、そのテーマに沿い、演習と講義で授業を展開する。

到達目標

健康的な食行動の形成と生活習慣化を図る行動科学理論に基づく栄養教育を演習し、ヘルスプロモーションに寄与する栄養教育の実践力を身につけることを到達目標とする。(1)各ライフステージの栄養教育上の問題点を説明できる。(2)各ライフステージの栄養教育上の問題点について、解決策を提案できる。(3)諸外国での栄養教育の実際の状況を説明できる。(4)行動科学理論に基づいた栄養教育のプランニングができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	レポート(100%)上記到達目標について、(1)30%、(2)20%、(3)30%、(4)20%
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリント配布、適宜参考図書等紹介

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	これからの栄養教育論	足立・衛藤・佐藤監訳	第一出版	
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	栄養教育特論							担当教員	廣瀬 潤子
講義コード	1820170	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	572NUT516								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ライフステージにあわせた栄養教育	生活習慣病発症（高血圧・肥満・骨粗鬆症等）モデルシュミレーション
第2回	ライフステージにあわせた栄養教育	生活習慣病発症（高血圧・肥満・骨粗鬆症等）モデルシュミレーション
第3回	ライフステージにあわせた栄養教育	生活習慣病発症（高血圧・肥満・骨粗鬆症等）モデルシュミレーション
第4回	ライフステージ別による栄養教育分野のトピックス	最新の栄養教育分野のトピックス
第5回	ライフステージ別による栄養教育分野のトピックス	最新の栄養教育分野のトピックス
第6回	ライフステージ別による栄養教育分野のトピックス	最新の栄養教育分野のトピックス
第7回	ライフステージ別による栄養教育分野のトピックス	最新の栄養教育分野のトピックス
第8回	ライフステージ別による栄養教育分野のトピックス	最新の栄養教育分野のトピックス
第9回	各ライフステージにおける栄養教育の実際	各ライフステージにおける栄養教育の実際（文献による検索）
第10回	各ライフステージにおける栄養教育の実際	各ライフステージにおける栄養教育の実際（文献による検索）
第11回	各ライフステージにおける栄養教育の実際	各ライフステージにおける栄養教育の実際（文献による検索）
第12回	各ライフステージにおける栄養教育の実際	各ライフステージにおける栄養教育の実際（文献による検索）
第13回	諸外国での栄養教育の実際	諸外国での栄養教育の実際
第14回	諸外国での栄養教育の実際	諸外国での栄養教育の実際
第15回	まとめ	まとめ
担当者から一言		

講義名	栄養制御論							担当教員	未定*
講義コード	1820180	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	572NUT510								

授業概要

今日の栄養学には予防医学というべき面が強い。生活習慣病の予防を含めた健康の維持は、食生活を含めた生活環境によって制御される一面を持っている。栄養素の摂取条件によって、生体内の代謝が変動している様相について解説し、健康維持が栄養素の摂取量によってどのように制御しうるかについて論じる。

到達目標

栄養素機能の感覚的把握

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	しない
レポート課題	50	内容による評価
上記以外	50	講義中の質問に対する応答

授業外学習

なし

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	健康運動学特論/							担当教員	中井 直也
講義コード	1820200	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

運動と栄養は身体に大きな影響を及ぼす、そのメカニズムを理解するためには、細胞・分子レベルでの運動および栄養が身体に及ぼす影響を細胞・分子レベルで理解する。

到達目標

- (1) 運動と栄養が糖質代謝に及ぼす影響を分子レベルで説明できる。
- (2) 運動と栄養が脂質代謝に及ぼす影響を分子レベルで説明できる。
- (3) 運動と栄養がタンパク質代謝に及ぼす影響を分子レベルで説明できる。
- (4) 分子運動栄養学の研究方法について説明できる。
- (5) 分子運動栄養学の最新のトピックスについて、その内容を発表できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	80%	到達目標の(1)～(4)についてレポートを作成する。
上記以外	20%	到達目標(5)について、授業内で発表する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	分子運動栄養学特論							担当教員	中井 直也
講義コード	1820205	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	572NUT511								

授業概要

運動と栄養は身体に大きな影響を及ぼす、そのメカニズムを理解するためには、細胞・分子レベルでの運動および栄養が身体に及ぼす影響を細胞・分子レベルで理解する。

到達目標

- (1) 運動と栄養が糖質代謝に及ぼす影響を分子レベルで説明できる。
- (2) 運動と栄養が脂質代謝に及ぼす影響を分子レベルで説明できる。
- (3) 運動と栄養がタンパク質代謝に及ぼす影響を分子レベルで説明できる。
- (4) 分子運動栄養学の研究方法について説明できる。
- (5) 分子運動栄養学の最新のトピックスについて、その内容を発表できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	80%	到達目標の(1)～(4)についてレポートを作成する。
上記以外	20%	到達目標(5)について、授業内で発表する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	分子運動栄養学特論							担当教員	中井 直也
講義コード	1820205	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	572NUT511								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	講義全体のガイダンス	15回の授業のすすめ方を概説する。
第2回	糖質代謝 1	運動と栄養が糖取り込みに及ぼす影響を分子レベルで学ぶ。
第3回	糖質代謝 2	運動と栄養がグリコーゲン代謝に及ぼす影響を分子レベルで学ぶ。
第4回	糖質代謝 3	運動と栄養が解糖系に及ぼす影響を分子レベルで学ぶ。
第5回	脂質代謝 1	運動と栄養が脂肪分解に及ぼす影響を分子レベルで学ぶ。
第6回	脂質代謝 2	運動と栄養がミトコンドリアに及ぼす影響を分子レベルで学ぶ。
第7回	タンパク質代謝 1	運動と栄養がタンパク質合成に及ぼす影響を分子レベルで学ぶ。
第8回	タンパク質代謝 2	運動と栄養がタンパク質分解に及ぼす影響を分子レベルで学ぶ。
第9回	タンパク質代謝 3	運動の強度や種類、時間がタンパク質代謝に及ぼす影響を分子レベルで学ぶ。
第10回	遺伝子発現調節	運動と栄養が遺伝子発現調節に及ぼす影響を学ぶ。
第11回	骨格筋の適応	運動と栄養が骨格筋に及ぼす影響と適応について学ぶ。
第12回	分子運動栄養学の研究方法 1	培養細胞を用いた運動と栄養の効果発現メカニズムの解析方法を学ぶ
第13回	分子運動栄養学の研究方法 2	筋サテライト細胞を用いた運動と栄養の効果発現メカニズムの解析方法を学ぶ。
第14回	分子運動栄養学のトピックス	分子運動栄養学の最新のトピックスについて学ぶ。
第15回	まとめ	これまでの学習内容の振り返りと今後の分子運動栄養学の今後について討論する。

担当者から一言

--

講義名	行動学特論							担当教員	細馬 宏通 / 上野 有理
講義コード	1820210	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	572NUT523								

授業概要

行動学では、行動の至近要因(行動の起こるプロセス)と究極要因(行動の進化の基盤)の双方を研究することが基本となる。この講義では食事場面をはじめとするさまざまな日常場面を例にあげ、至近要因アプローチの一例として参与者の認知とコミュニケーションに注目した研究方法を紹介する。また究極要因アプローチとして進化理論について学ぶ。

到達目標

- (1) 人間のさまざまな行動を、認知とコミュニケーションの点から理解する。
(2) 進化理論を基に人間行動を読み解く視点を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	授業時間外に課す課題により、(1)を30%、(2)を30%評価する。
上記以外	40	授業時間内に課す課題により、(1)を20%、(2)を20%評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	児童健康問題特論							担当教員	奥村 万寿美
講義コード	1820220	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	572NUT521								

授業概要

成長・発育期にあたる児童における急性疾患や慢性疾患は、患児の病態や病状等に応じた適切な栄養アセスメント、栄養診断により具体的な栄養ケアを立案し、日々実践することにより疾病の治癒・回復に役立つ栄養マネジメントとなる。患児の社会生活環境や療養環境などの現状を踏まえた栄養治療、実態調査、あるいは症例研究を介して、児童の健康の維持・増進あるいは健康回復の問題点について考える。

到達目標

- (1) 児童の心身の健全な成長・発育を阻害する問題点を明らかにすることができる。
- (2) 患児の社会生活環境や療養環境などの現状を踏まえ、患児の発育段階や病態・病状等に応じた適切な栄養診断・栄養アセスメントにより具体的な栄養ケアを立案することができる。
- (3) 患児と保護者、学校関係者との関わりについて理解することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	レポート課題 「あなたが解決したい児童における社会問題」を、現在の社会情勢を踏まえて、特に栄養と食の面から、解決すべき問題点を考える。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリント配布する

前提学力等

履修資格

講義名	児童健康問題特論							担当教員	奥村 万寿美
講義コード	1820220	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	572NUT521								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	健康児と病児	健康児の栄養と病児の栄養療法 について講義する
第2回	胎児期からの栄養管理	胎児のエピジェネティクス（遺伝子発現の制御機構）から胎児の栄養管理についてを講義する。
第3回	小児の急性疾患	急性疾患と栄養管理 についてを講義する。
第4回	小児の肥満	肥満症の問題点と栄養管理 についてを講義する。
第5回	小児メタボリックシンドローム、脂質異常症	メタボリックシンドローム、脂質異常症 についてを講義する。
第6回	小児糖尿病	小児2型・1型糖尿病 の概要と栄養管理についてを講義する。
第7回	小児糖尿病	栄養食事療法（糖尿病食品交換表、低GI食、カーボカウント）について 小児サマーキャンプについて紹介する。
第8回	小児CKD	小児腎臓病と重症化予防 についてを講義する
第9回	摂食障害（拒食症）	摂食障害の問題点と栄養管理 についてを講義する。
第10回	食物アレルギー	食物アレルギーについて講義するとともに、保育園・小学校におけるその対応について説明する。
第11回	先天性代謝異常，てんかん	先天性代謝異常症、てんかん についてを講義する。特殊ミルクやケトン食を紹介する。
第12回	小児がんと周術期	小児がんと術前術後の栄養管理について講義する。 無菌食について紹介する。
第13回	小児口腔問題～嘔む～	近年、食べ物の軟食化により、「嘔めない」、「嘔まない」、「飲み込めない」など、子どもの食物 摂取機能低下が問題となっている。食育「よく嘔むといいことがあるよ」から考察する。
第14回	ジュニア期のスポーツ栄養サポート	ジュニア期のスポーツ栄養サポートのあり方を講義する。
第15回	食育と栄養教諭の役割	食育と栄養教諭の役割について講義する。
担当者から一言		

講義名	小児医学特論							担当教員	多賀 崇 / 澤井 俊宏 / 底田 辰之 / 松井 克之
講義コード	1820230	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	572NUT527								

授業概要

「子どもは大人のミニチュアではない」。これは小児の疾病を理解するためのキーワードである。小児は生理的な特性が成人と異なるため、疾病罹患の病態も成人とは異なる。さらに、小児期に特徴的な疾病も存在する。栄養に関連した疾病でも同様であるが、小児期は成長発達の時期でもあるため、これを踏まえて疾病を理解しなければならない。本講義ではこれらの点についての理解が進むよう最新の知見も交えて解説する。

到達目標

栄養に関連した小児疾患について理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標に関して講義毎のレポートで評価する。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書：特になし。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

毎回参考となるプリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	住環境デザイン特論A							担当教員	宮本 雅子
講義コード	1820235	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	577RED501								

授業概要

心理的・生理的に快適な室内空間を計画するためには、人間とインテリア・エレメントとの相互関係を捉える必要がある。そのための実験・調査手法を論じるとともに、それらについての研究資料を通じて室内環境計画上の問題点について考察する。また、超高齢社会となった現在、快適な室内環境を計画していくためにはユニバーサルデザインの視点を取り入れていく必要がある。その意義について論じるとともに住居計画での事例を分析する。

到達目標

- (1)室内環境計画の調査手法について理解する。
- (2)室内環境にかかわる問題について、その解決策を調査・検討できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標の(1)室内環境計画の調査手法について理解する、については、課題発表30%、(2)室内環境にかかわる問題について、その解決策を調査・検討できる、については、最終レポート40%、課題発表30%で評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書：日本建築学会編「環境心理調査手法入門」技報堂出版、日本建築学会編「コンパクト建築設計資料集成バリアフリー」丸善、他

前提学力等

履修資格

講義名	住環境デザイン特論B							担当教員	藤木 庸介
講義コード	1820236	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	577RED502								

授業概要

都市や地域における生活空間の構成手法について、歴史、文化、社会、経済、技術といった視点から考える。特に、世界の各地域における、地域に固有な生活空間（居住空間、集落空間、都市空間）の形態とその構成原理について、既往研究成果の理解を通して比較考察するとともに、伝統的な生活空間の持つ意味をどのように現代の生活空間計画に継承・反映しうるのか、そのあり方について考える。

授業は受講者による発表とその後の議論という形式をとる。

到達目標

- (1) 様々な地域の固有な生活空間（居住空間、集落空間、都市空間）の形態とその構成原理について理解する。
- (2) 具体的な地域の生活空間を事例を挙げて自らリサーチし、分析、考察の上、その構成原理を説明することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	本授業を通して得た知識、各自のリサーチ結果とその分析、考察等をリサーチペーパーとしてまとめ、提出を求める。これを到達目標に照らし合わせて評価を行う。評価の比率は、(1)を50%、(2)を50%とする。
上記以外		

授業時間の3分の1以上を欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	住まいがたえる世界のくらし	藤木庸介(編)	世界思想社	ISBN978-4-7907-1689-1
2	生きている文化遺産と観光	藤木庸介(編)	学芸出版社	ISBN978-4-7615-2480-7
3				

参考書は授業内で適宜紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	住環境デザイン特論B							担当教員	藤木 庸介
講義コード	1820236	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	577RED502								

授業計画		
------	--	--

回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	授業目的と進め方、評価方法について解説する。
第2回	地域生活空間事例考察(1)	受講者による発表とその後の論議。
第3回	地域生活空間事例考察(2)	受講者による発表とその後の論議。
第4回	地域生活空間事例考察(3)	受講者による発表とその後の論議。
第5回	地域生活空間事例考察(4)	受講者による発表とその後の論議。
第6回	地域生活空間事例考察(5)	受講者による発表とその後の論議。
第7回	集住空間構成に関する事例考察(1)	受講者による発表とその後の論議。
第8回	集住空間構成に関する事例考察(2)	受講者による発表とその後の論議。
第9回	集住空間構成に関する事例考察(3)	受講者による発表とその後の論議。
第10回	集住空間構成に関する事例考察(4)	受講者による発表とその後の論議。
第11回	集住空間構成に関する事例考察(5)	受講者による発表とその後の論議。
第12回	地域生活空間計画に関する議論(1)	受講者による発表とその後の論議。
第13回	地域生活空間計画に関する議論(2)	受講者による発表とその後の論議。
第14回	地域生活空間計画に関する議論(3)	受講者による発表とその後の論議。
第15回	全体まとめ	本授業の総括と論議。

担当者から一言		

講義名	住環境デザイン特論C							担当教員	佐々木 一泰
講義コード	1820237	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	577RED503								

授業概要

年度ごとにテーマを設定し、様々な場所から、空間をデザインしているエレメントを抽出する。
 地域性や機能性、属性、関係性など、より実践的、専門的な視点から調査・分析する。
 また、それぞれのエレメントの問題点や、引用、転用の可能性を探り、実践的な空間デザインへの応用を考える。

到達目標

- (1)空間デザインの比較・考察が出来る。
- (2)空間デザインについての比較・考察を、各々具体的な手段によって表現が出来る。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	栄養疫学特論							担当教員	今井 絵理
講義コード	1820245	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	572NUT512								

授業概要

栄養疫学は、食習慣や食行動が健康状態や疾病発症に与える影響を明らかにすることを目的としている。本講義では、疫学研究のデザイン、疫学研究における測定誤差、疫学研究で使用する統計手法をりかいした上で、栄養疫学研究の英語書籍 (Willett W. Nutritional Epidemiology) あるいは最近の栄養疫学論文を読み解くことで、栄養疫学についての理解を深める。

到達目標

- (1) 疫学研究のデザインを説明できる
- (2) 疫学研究における測定誤差を説明できる
- (3) 疫学研究で使用する主な統計手法を説明できる
- (4) 栄養疫学研究の英語論文を読解できる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	
上記以外	50	

到達目標で示した事項について、発表 (50%)、レポート評価 (50%) で評価する。
100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
事業時間数の3分の1以上を欠席したものは評価対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリント配布

前提学力等

栄養疫学論の講義を受講していることが望ましい。

履修資格

講義名	栄養疫学特論							担当教員	今井 絵理
講義コード	1820245	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	572NUT512								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	栄養疫学の概要 (Overview of Nutritional Epidemiology)	栄養疫学の概要について概説する。
第2回	疫学研究のデザイン (横断研究)	疫学研究のデザイン (横断研究) についての論文を読み、内容についての理解を深める。
第3回	疫学研究のデザイン (前向きコホート研究)	疫学研究のデザイン (前向きコホート研究) についての論文を読み、内容についての理解を深める。
第4回	疫学研究のデザイン (症例対照研究)	疫学研究のデザイン (症例対照研究) についての論文を読み、内容についての理解を深める。
第5回	疫学研究のデザイン (介入研究)	疫学研究のデザイン (介入研究) についての論文を読み、内容についての理解を深める。
第6回	食物と栄養素 (Food and Nutrients)	食物と栄養素についての論文を読み、内容についての理解を深める。
第7回	食事の変動について (Nature of variation in diet)	食事の変動についての論文を読み、内容についての理解を深める。
第8回	食事調査法 (Dietary record)	食事調査法についての論文を読み、内容についての理解を深める。
第9回	食事調査法 (24h recall)	食事調査法についての論文を読み、内容についての理解を深める。
第10回	食事摂取量を反映する生化学的指標	食事摂取量を反映する生化学的指標 (Biochemical indicators of dietary intake) についての論文を読み、内容についての理解を深める。
第11回	食事摂取量を反映する生化学的指標	食事摂取量を反映する生化学的指標 (Biochemical indicators of dietary intake) についての論文を読み、内容についての理解を深める。
第12回	総エネルギー摂取量の考え方と取り扱い方	総エネルギー摂取量の考え方と取り扱い方 (Implications of total energy intake) についての論文を読み、内容についての理解を深める。
第13回	総エネルギー摂取量の考え方と取り扱い方	総エネルギー摂取量の考え方と取り扱い方、特にエネルギー調整法についての論文を読み、内容についての理解を深める。
第14回	測定誤差の補正 (Measurement Error)	測定誤差の補正についての論文を読み、内容についての理解を深める。
第15回	まとめ	まとめ
担当者から一言		

講義名	食文化特論							担当教員	堀越 昌子
講義コード	1820270	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	572NUT526								

授業概要

琵琶湖を持つ滋賀県の食文化の特徴を世界の食文化と比較しながら学び、その成立背景を探っていく。滋賀の食文化は琵琶湖の湖魚類を発酵させたナレスシ文化があり、栄養バランスの優れた湖周型食生活を形成している。この特色ある食文化を学び継承していく。

到達目標

環境、風土に根づいた暮らしとそこで形成されてきた食文化の大事さを理解する。・地域の食文化を分析し、持続可能な生活のあり方を創造していきける力を養成する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	課題レポートから理解度と考察力を基準に評価する。
上記以外	50	プレゼンテーション「出身地の風土と食文化の特徴を分析し、まとめて報告する」

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	フナズシの謎	滋賀の食事文化研究会	サンライズ出版	978-4-88325-166-7
2	銃・病原菌・鉄	ジャレッド・ダイヤモンド	草思社	4-7942-1005-1
3				

前提学力等

履修資格

講義名	食文化特論							担当教員	堀越 昌子
講義コード	1820270	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	572NUT526								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ヒトの暮らしと環境	ジャレット・ダイヤモンド「銃・病原菌・鉄」から、ヒトの歩みと歴史を食の観点から分析し捉えていく。
第2回	世界の食文化と暮らし	世界の食文化体系を主要食料で分類し、マップに表して、比較検討していく。
第3回	食文化成立の背景と歴史	農業と栽培作物、牧畜と家畜、地域の食文化の発展生成過程を探索。
第4回	風土と食文化の形成	稲作文化圏（アジアモンスーン圏）を中心に、気候・風土が食文化形成の上で決定的な要因となっていることを把握する。
第5回	雑穀文化と芋文化	世界の雑穀文化とアジア北東部の雑穀の特徴を探り、また世界の芋文化、里芋、山芋を中心に日本の芋文化の特徴を探索。
第6回	米の歴史と稲作文化	アジアモンスーン圏における稲作の特徴と稲が渡来してからの日本における食と歴史を捉えていく。
第7回	近江の飯・餅・団子	米どころ滋賀は、古くからの水田稲作が発達した地域である。飯・餅・団子文化が発達し、祭りの主役として登場し、独特の文化が残っていることを捉える。
第8回	滋賀の豆文化	豆類は、お米の栄養を補完する存在で、日本人の栄養に貢献してきた。「ご飯と味噌汁」、「味噌と醤油」。
第9回	滋賀の野菜文化	滋賀県は野菜の漬物文化が発達している。ご飯の主要な副食として、多彩な漬物が考案されてきた。特に滋賀は日野菜などの赤かぶの漬物に特徴がある。
第10回	琵琶湖の漁撈と淡水魚食文化	琵琶湖漁業の特徴、滋賀の魚介類の食べ方の特徴を探っていく。琵琶湖の魚介類の存在が食生活に大きな影響を与えたことを捉えていく。
第11回	ナレズシと発酵文化	米どころ滋賀県では、琵琶湖の魚介類をお米で発酵させて、多様なナレズシをつくってきた。東南アジアの魚発酵食品と比較しながら、滋賀のナレズシの特徴を捉えていく。
第12回	茶の文化	日本における茶文化の特徴と、滋賀県における茶の産地と歴史をたどる。
第13回	祭りとお食	祭りと食との関係を事例を紹介し、五穀豊穡を願う人々の熱い願いを捉えていく。
第14回	食文化財と継承の課題	滋賀県は「滋賀の食文化財」を選定している。ユネスコ世界遺産にも和食が選ばれた。伝統的な食文化を継承していくのことの意義を考えていく。
第15回	地域の食文化	出身地の食文化を報告し合い、互いに学び合い、まとめていく。
担当者から一言		

講義名	生活文化学特別演習（健康栄養・1年次）						担当教員	専攻教員 / 今井 絵理 / 遠藤 弘史 / 奥村 万寿美 / 佐野 光枝 / 中井 直也 / 東田 一彦 / 廣瀬 潤子 / 福渡 努 / 森 紀之 / 矢野 仁康	
講義コード	1820280	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別			演習
ナンバリング番号	572NUT601								

授業概要

各自の専攻する分野にしたがって、文献購読やセミナー形式での報告・討論・評価を行い、研究遂行上の必要な専門知識、技術の深化と関連知識の拡大をはかる。

到達目標

研究遂行上の必要な専門知識、技術を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	指導教員が、研究課題の進捗状況報告に基づき評価を行う。担当教員が、中間発表（毎年7月）に基づき評価を行う

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	生活文化学特別演習（健康栄養・2年次）						担当教員	専攻教員 / 今井 絵理 / 遠藤 弘史 / 奥村 万寿美 / 佐野 光枝 / 中井 直也 / 東田 一彦 / 廣瀬 潤子 / 福渡 努 / 森 紀之 / 矢野 仁康	
講義コード	1820290	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別			演習
ナンバリング番号	572NUT601								

授業概要

各自の専攻する分野にしたがって、文献購読やセミナー形式での報告・討論・評価を行い、研究遂行上の必要な専門知識、技術の深化と関連知識の拡大をはかる。

到達目標

研究遂行上の必要な専門知識、技術を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	指導教員が、研究課題の進捗状況報告に基づき評価を行う。担当教員が、中間発表（毎年7月）に基づき評価を行う

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	生活文化学特別研究（健康栄養・1年次）						担当教員	専攻教員 / 今井 絵理 / 遠藤 弘史 / 奥村 万寿美 / 佐野 光枝 / 中井 直也 / 東田 一彦 / 廣瀬 潤子 / 福渡 努 / 森 紀之 / 矢野 仁康	
講義コード	1820300	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別			演習
ナンバリング番号	572NUT602								

授業概要

各自の研究テーマに応じて、研究計画の立案、実験・実証技術の習得、作業仮説の設定、データ収集と解析と評価、問題の明確化と整理の手法、論文の作成など研究の遂行に関わる基本的事柄について指導する。

到達目標

各自の研究テーマに応じ、研究の遂行に関わる基本的事柄について修得し、最終的に論文を作成する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	指導教員が、各自の研究テーマに応じ、研究の遂行に関わる基本的事柄についての習得状況を評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	生活文化学特別研究（健康栄養・2年次）						担当教員	専攻教員 / 今井 絵理 / 遠藤 弘史 / 奥村 万寿美 / 佐野 光枝 / 中井 直也 / 東田 一彦 / 廣瀬 潤子 / 福渡 努 / 森 紀之 / 矢野 仁康	
講義コード	1820310	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別			演習
ナンバリング番号	572NUT602								

授業概要

各自の研究テーマに応じて、研究計画の立案、実験・実証技術の習得、作業仮説の設定、データ収集と解析と評価、問題の明確化と整理の手法、論文の作成など研究の遂行に関わる基本的事柄について指導する。

到達目標

各自の研究テーマに応じ、研究の遂行に関わる基本的事柄について修得し、最終的に論文を作成する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	修士論文の提出と発表を行い担当教員が評価を行う

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	教育制度論特講							担当教員	杉浦 由香里
講義コード	1820362	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	572EDU602								

授業概要

教育制度をめぐる今日的課題を視野に入れながら、近代日本において教育制度が成立する歴史的過程を分析・考察する。

到達目標

- (1) 教育制度をめぐる歴史的動向や現代的課題について理解する。
- (2) 教育制度に関する理論的・実践的諸課題を分析・考察し、論じる力を身につける。
- (3) 最新の研究成果および動向を文献・論文の検討、討論を通して把握する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	最終レポート
上記以外	50	課題報告および討論への参加

課題報告および討論への参加、最終レポートをもとに総合的に評価する。

授業外学習

事前に文献を読み、要点や疑問点をまとめること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜指示する。

前提学力等

履修資格

講義名	社会学特講 B							担当教員	丸山 真央 / 大野 光明 / 中村 好孝
講義コード	1820392	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	572S0C602								

授業概要

社会学の各分野の基本文献の購読や講義を通じて、社会学という学問の外観を把握するとともに、その理解を深めることを目標とする。具体的には、地域社会、福祉、社会運動、メディアなどの分野の研究を中心に取り上げ、社会の構造と変動を理論的・実証的に理解する視点と方法を学ぶ。

到達目標

- (1) 社会学の基本的な視点と知識を身につける。
- (2) 現代社会の諸事象について、社会学の視点と方法を用いて理解することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	レポート課題を出し、(1)と(2)の到達度を評価する((1)25%、(2)25%)。
上記以外	50%	発表・報告によって、(1)と(2)の到達度を評価する((1)25%、(2)25%)。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用しない。適宜資料を配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書は授業の中でその都度紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	生活文化学特別演習（人間関係・1年次）							担当教員	専攻教員 / 上野 有理 / 大野 光明 / 木村 裕 / 後藤 崇志 / 杉浦 由香里 / 中村 好孝 / 原 未来 / 細馬 宏通 / 松嶋 秀明 / 丸山 真央
講義コード	1820400	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	572HRS620								

授業概要

各自の専攻する分野にしたがって、文献講読やセミナー形式での報告・討論・評価を行い、研究遂行に必要な専門知識、技術の深化と関連知識の拡大をはかる。

到達目標

研究遂行に必要な専門知識や技術、関連知識を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	発表や各指導教員によって指定された提出レポートを総合して評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜指定する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜指定する。

前提学力等

履修資格

講義名	生活文化学特別演習（人間関係・2年次）						担当教員	専攻教員 / 上野 有理 / 大野 光明 / 木村 裕 / 後藤 崇志 / 杉浦 由香里 / 中村 好孝 / 原 未来 / 細馬 宏通 / 松嶋 秀明 / 丸山 真央	
講義コード	1820410	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別			演習
ナンバリング番号	572HRS620								

授業概要

各自の専攻する分野にしたがって、文献講読やセミナー形式での報告・討論・評価を行い、研究遂行に必要な専門知識、技術の深化と関連知識の拡大をはかる。

到達目標

研究遂行に必要な専門知識や技術、関連知識を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	発表や各指導教員によって指示された提出レポートを総合して評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜指定する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜指定する。

前提学力等

履修資格

講義名	生活文化学特別研究（人間関係・1年次）						担当教員	専攻教員 / 上野 有理 / 大野 光明 / 木村 裕 / 後藤 崇志 / 杉浦 由香里 / 中村 好孝 / 原 未来 / 細馬 宏通 / 松嶋 秀明 / 丸山 真央	
講義コード	1820420	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別			演習
ナンバリング番号	572HRS621								

授業概要

各自の研究テーマに応じて、研究計画の立案、実験・実証技術の修得、作業仮説の設定、データ収集と解析と評価、問題の明確化と整理の手法、論文の作成など研究の遂行に関わる基本的事柄について指導する。

到達目標

各自のテーマに応じて論文を作成するための基礎的な研究をおこない、成果としてまとめる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	発表や各教員によって指示された提出レポート等を総合して評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜指定する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜指定する。

前提学力等

履修資格

講義名	生活文化学特別研究（人間関係・2年次）							担当教員	専攻教員 / 上野 有理 / 大野 光明 / 木村 裕 / 後藤 崇志 / 杉浦 由香里 / 中村 好孝 / 原 未来 / 細馬 宏通 / 松嶋 秀明 / 丸山 真央
講義コード	1820430	単位数	8	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	572HRS621								

授業概要

各自の研究テーマに応じて、研究計画の立案、実験・実証技術の修得、作業仮説の設定、データ収集と解析と評価、問題の明確化と整理の手法、論文の作成など研究の遂行に関わる基本的事柄について指導する。

到達目標

各自のテーマに応じ、研究を実施し論文を作成する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	修士論文中間発表と修士論文の内容、および公聴会での状況を総合して評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜指定する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜指定する。

前提学力等

履修資格

講義名	比較行動論特講							担当教員	細馬 宏通 / 上野 有理
講義コード	1820440	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	572PSY603								

授業概要

行動学では、行動の至近要因（行動の起こるプロセス）と究極要因（行動の進化の基盤）の双方を研究することが基本となる。この講義では、至近要因アプローチの一例として、人間の会話における発話と動作の時間構造を捉える手法とその実践について学ぶ。究極要因アプローチとして進化理論について学ぶ。

細馬担当分では、日常会話におけることばと身体との相互作用を分析する概念と、その応用例を紹介する。受講生にも分析に参加してもらうことがある。

上野担当分では、人間の行動や心理を説明する1つの方法として、進化生物学的アプローチを紹介する。実際の人間の行動を例にあげ、他種との比較からそれらを読み解いていく。

到達目標

- (1) ことばと身体との相互作用を分析する概念を理解する。
- (2) 進化生物学的アプローチにより人間行動を捉える視点を身につける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	授業時間外に課される課題により、(1)を30%、(2)を30%評価する。
上記以外	40	授業時間内に課される課題により、(1)を20%、(2)を20%評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フィールド心理学特講							担当教員	松嶋 秀明
講義コード	1820441	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	572PSY602								

授業概要

この科目は、平成28年度は開講されません。
 非行臨床心理学、児童福祉臨床の心理学をテーマとしながら、従来の臨床心理学的理論の枠組みにとどまらず、心理学、社会学そのほかの諸学問の動向を紹介しつつ、現象記述の可能性についても講義する。
 毎回、指定された論文について読み、講師からの紹介につづいてディスカッションをおこない、自らの実践分野への転用可能性についてもさぐる。

到達目標

非行臨床についての諸研究から、この分野についての子どもの発達についての理論と実践についての基礎知識をえる
 児童福祉臨床についての諸研究から、この分野についての子どもの発達についての理論と実践についての基礎知識をえる
 学校臨床についての諸研究から、この分野についての子どもの発達についての理論と実践についての基礎知識をえる
 自らの分野の研究と接合していける力をつける

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	文献購読の正確性、新たな視点への理解、自らの実践分野との関連性の意識、論理的な文章の諸点をそれぞれ25%の配点とする。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	日本・地域文化論特別演習							担当教員	専攻教員/東 幸代/市川 秀之/ 亀井 若菜/京樂 真帆子/武田 俊輔/ 塚本 礼仁/中井 均/水野 章二
講義コード	2930010	単位数	4	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	776JRE701								

授業概要

専門分野・隣接分野について、日本の各地域・各時代を扱った研究論文等を精読し、基礎理論、方法論および先行研究の成果に関する理解を深める。

到達目標

(1)研究テーマにおける問題の所在や専門分野の研究動向に対する洞察力を涵養する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	研究テーマにおける問題の所在や専門分野の研究動向に対する洞察力を涵養するについては、報告と討論の内容による。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

前提学力等

履修資格

講義名	日本・地域文化論特別演習							担当教員	専攻教員 / 東 幸代 / 市川 秀之 / 亀井 若菜 / 京樂 真帆子 / 武田 俊輔 / 塚本 礼仁 / 中井 均 / 水野 章二
講義コード	2930010	単位数	4	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	776JRE701								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各担当教員より各回の内容・スケジュールについて説明する。
第2回	日本・地域文化論演習 その1	
第3回	日本・地域文化論演習その2	
第4回	日本・地域文化論演習その3	
第5回	日本・地域文化論演習その4	
第6回	日本・地域文化論演習その5	
第7回	日本・地域文化論演習その6	
第8回	日本・地域文化論演習その7	
第9回	日本・地域文化論演習その8	
第10回	日本・地域文化論演習その9	
第11回	日本・地域文化論演習その10	
第12回	日本・地域文化論演習その11	
第13回	日本・地域文化論演習その12	
第14回	日本・地域文化論演習その13	
第15回	日本・地域文化論演習その14	
第16回	日本・地域文化論演習その15	
第17回	日本・地域文化論演習その16	
第18回	日本・地域文化論演習その17	
第19回	日本・地域文化論演習その18	
第20回	日本・地域文化論演習その19	
第21回	日本・地域文化論演習その20	
第22回	日本・地域文化論演習その21	
第23回	日本・地域文化論演習その22	
第24回	日本・地域文化論演習その23	
第25回	日本・地域文化論演習その24	
第26回	日本・地域文化論演習その25	
第27回	日本・地域文化論演習その26	
第28回	日本・地域文化論演習その27	
第29回	日本・地域文化論演習その28	
第30回	まとめ	

担当者から一言

講義名	日本・地域文化論特別研究							担当教員	専攻教員/東 幸代/市川 秀之/ 亀井 若菜/京樂 真帆子/武田 俊輔/ 塚本 礼仁/中井 均/水野 章二
講義コード	2930020	単位数	0	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	776JRE702								

授業概要

日本における地域文化の領域について、歴史的・国際的視点に立脚し、理論的・応用的な研究課題を設定させ、分析方法、調査方法、研究成果のまとめ方などについて高度な指導を行う。

到達目標

(1)独創的かつ専門的な博士論文を作成させるための能力を身につけることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	独創的かつ専門的な博士論文を作成させるための能力を身につけることができるについては、研究報告の内容により評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

前提学力等

履修資格

講義名	日本・地域文化論特別研究							担当教員 専攻教員 / 東 幸代 / 市川 秀之 / 亀井 若菜 / 京樂 真帆子 / 武田 俊輔 / 塚本 礼仁 / 中井 均 / 水野 章二
講義コード	2930020	単位数	0	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	776JRE702							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各担当教員により各回の内容・スケジュールの説明をする。
第2回	日本・地域文化論特別研究その1	
第3回	日本・地域文化論特別研究その2	
第4回	日本・地域文化論特別研究その3	
第5回	日本・地域文化論特別研究その4	
第6回	日本・地域文化論特別研究その5	
第7回	日本・地域文化論特別研究その6	
第8回	日本・地域文化論特別研究その7	
第9回	日本・地域文化論特別研究その8	
第10回	日本・地域文化論特別研究その9	
第11回	日本・地域文化論特別研究その10	
第12回	日本・地域文化論特別研究その11	
第13回	日本・地域文化論特別研究その12	
第14回	日本・地域文化論特別研究その13	
第15回	日本・地域文化論特別研究その14	
第16回	日本・地域文化論特別研究その15	
第17回	日本・地域文化論特別研究その16	
第18回	日本・地域文化論特別研究その17	
第19回	日本・地域文化論特別研究その18	
第20回	日本・地域文化論特別研究その19	
第21回	日本・地域文化論特別研究その20	
第22回	日本・地域文化論特別研究その21	
第23回	日本・地域文化論特別研究その22	
第24回	日本・地域文化論特別研究その23	
第25回	日本・地域文化論特別研究その24	
第26回	日本・地域文化論特別研究その25	
第27回	日本・地域文化論特別研究その26	
第28回	日本・地域文化論特別研究その27	
第29回	日本・地域文化論特別研究その28	
第30回	まとめ	

担当者から一言

講義名	アジア・地域文化論特別演習							担当教員	専攻教員 / 定森 秀夫 / 島村 一平 / 田中 俊明 / 棚瀬 慈郎 / Borjigin Burensain
講義コード	2930030	単位数	4	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	776ARE701								

授業概要

専攻する地域（アジア）・時代の論文や調査報告書を精読する。また、現地調査を実施させ、その際に作成したフィールドノートをもとに討議する。

到達目標

(1)海外地域（アジア）研究の手法を身に付け、論文や調査報告書の作成につなげられる力を習得することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	海外地域（アジア）研究の手法を身に付け、論文や調査報告書の作成につなげられる力を習得することができるについては、報告の内容と討論の内容による。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

前提学力等

履修資格

講義名	アジア・地域文化論特別演習							担当教員	専攻教員 / 定森 秀夫 / 島村 一平 / 田中 俊明 / 棚瀬 慈郎 / Borjigin Burensain
講義コード	2930030	単位数	4	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	776ARE701								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各担当教員により各回の内容・スケジュールについて説明する。
第2回	アジア・地域文化論特別演習その1	
第3回	アジア・地域文化論特別演習その2	
第4回	アジア・地域文化論特別演習その3	
第5回	アジア・地域文化論特別演習その4	
第6回	アジア・地域文化論特別演習その5	
第7回	アジア・地域文化論特別演習その6	
第8回	アジア・地域文化論特別演習その7	
第9回	アジア・地域文化論特別演習その8	
第10回	アジア・地域文化論特別演習その9	
第11回	アジア・地域文化論特別演習その10	
第12回	アジア・地域文化論特別演習その11	
第13回	アジア・地域文化論特別演習その12	
第14回	アジア・地域文化論特別演習その13	
第15回	アジア・地域文化論特別演習その14	
第16回	アジア・地域文化論特別演習その15	
第17回	アジア・地域文化論特別演習その16	
第18回	アジア・地域文化論特別演習その17	
第19回	アジア・地域文化論特別演習その18	
第20回	アジア・地域文化論特別演習その19	
第21回	アジア・地域文化論特別演習その20	
第22回	アジア・地域文化論特別演習その21	
第23回	アジア・地域文化論特別演習その22	
第24回	アジア・地域文化論特別演習その23	
第25回	アジア・地域文化論特別演習その24	
第26回	アジア・地域文化論特別演習その25	
第27回	アジア・地域文化論特別演習その26	
第28回	アジア・地域文化論特別演習その27	
第29回	アジア・地域文化論特別演習その28	
第30回	まとめ	

担当者から一言

講義名	アジア・地域文化論特別研究							担当教員	専攻教員 / 定森 秀夫 / 島村 一平 / 田中 俊明 / 棚瀬 慈郎 / Borjigin Burensain
講義コード	2930040	単位数	0	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	776ARE702								

授業概要

現地調査と文字資料、歴史史料などを総合することで、アジアの地域文化の形成、発展、現状を分析し、実態解明を図る。また、その成果を高めるべく、比較研究を進めさせる。

到達目標

(1) 独創的かつ専門的な博士論文を作成させるための能力を身につけることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	独創的かつ専門的な博士論文を作成させるための能力を身につけることができるについては、研究報告の内容により評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

前提学力等

履修資格

講義名	アジア・地域文化論特別研究							担当教員	専攻教員 / 定森 秀夫 / 島村 一平 / 田中 俊明 / 棚瀬 慈郎 / Borjigin Burensain
講義コード	2930040	単位数	0	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	776ARE702								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各担当教員により各回の内容・スケジュールについて説明する。
第2回	アジア・地域文化論特別研究その1	
第3回	アジア・地域文化論特別研究その2	
第4回	アジア・地域文化論特別研究その3	
第5回	アジア・地域文化論特別研究その4	
第6回	アジア・地域文化論特別研究その5	
第7回	アジア・地域文化論特別研究その6	
第8回	アジア・地域文化論特別研究その7	
第9回	アジア・地域文化論特別研究その8	
第10回	アジア・地域文化論特別研究その9	
第11回	アジア・地域文化論特別研究その10	
第12回	アジア・地域文化論特別研究その11	
第13回	アジア・地域文化論特別研究その12	
第14回	アジア・地域文化論特別研究その13	
第15回	アジア・地域文化論特別研究その14	
第16回	アジア・地域文化論特別研究その15	
第17回	アジア・地域文化論特別研究その16	
第18回	アジア・地域文化論特別研究その17	
第19回	アジア・地域文化論特別研究その18	
第20回	アジア・地域文化論特別研究その19	
第21回	アジア・地域文化論特別研究その20	
第22回	アジア・地域文化論特別研究その21	
第23回	アジア・地域文化論特別研究その22	
第24回	アジア・地域文化論特別研究その23	
第25回	アジア・地域文化論特別研究その24	
第26回	アジア・地域文化論特別研究その25	
第27回	アジア・地域文化論特別研究その26	
第28回	アジア・地域文化論特別研究その27	
第29回	アジア・地域文化論特別研究その28	
第30回	まとめ	

担当者から一言

講義名	考現学・保存修景論特別演習							担当教員	専攻教員 / 石川 慎治 / 濱崎 一志
講義コード	2930050	単位数	4	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	776MAC701								

授業概要

考現学、保存修景論、地域展開論などの分野の論文を読み、また、これらの分野に応じた現地調査・実習も行う。さらに、その成果を素材として討論を行う。

到達目標

(1)考現学・保存修景論分野の専門的な研究遂行力を高めることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	考現学・保存修景論分野の専門的な研究遂行力を高めることができるについては、報告・討論の内容による。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

前提学力等

履修資格

講義名	考現学・保存修景論特別演習							担当教員	専攻教員 / 石川 慎治 / 濱崎 一志
講義コード	2930050	単位数	4	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	776MAC701								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各担当教員より各回の内容・スケジュールについて説明する。
第2回	考現学・保存修景論特別演習その1	
第3回	考現学・保存修景論特別演習その2	
第4回	考現学・保存修景論特別演習その3	
第5回	考現学・保存修景論特別演習その4	
第6回	考現学・保存修景論特別演習その5	
第7回	考現学・保存修景論特別演習その6	
第8回	考現学・保存修景論特別演習その7	
第9回	考現学・保存修景論特別演習その8	
第10回	考現学・保存修景論特別演習その9	
第11回	考現学・保存修景論特別演習その10	
第12回	考現学・保存修景論特別演習その11	
第13回	考現学・保存修景論特別演習その12	
第14回	考現学・保存修景論演習その13	
第15回	考現学・保存修景論特別演習その14	
第16回	考現学・保存修景論特別演習その15	
第17回	考現学・保存修景論特別演習その16	
第18回	考現学・保存修景論特別演習その17	
第19回	考現学・保存修景論特別演習その18	
第20回	考現学・保存修景論特別演習その19	
第21回	考現学・保存修景論特別演習その20	
第22回	考現学・保存修景論特別演習その21	
第23回	考現学・保存修景論特別演習その22	
第24回	考現学・保存修景論特別演習その23	
第25回	考現学・保存修景論特別演習その24	
第26回	考現学・保存修景論特別演習その25	
第27回	考現学・保存修景論特別演習その26	
第28回	考現学・保存修景論特別演習その27	
第29回	考現学・保存修景論特別演習その28	
第30回	まとめ	まとめ

担当者から一言

講義名	考現学・保存修景論特別研究							担当教員	専攻教員 / 石川 慎治 / 濱崎 一志
講義コード	2930060	単位数	0	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	776MAC702								

授業概要

地域文化の歴史的展開、現状、展望（将来的に想定される意味）を明らかにすることはもちろん、望ましい伝統文化については、その保存修景の方策を考察する。

到達目標

(1) 独創的かつ専門的な博士論文を作成させるための能力を身につけることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	独創的かつ専門的な博士論文を作成させるための能力を身につけることができるについては、研究報告の内容により評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教員の指示による。

前提学力等

履修資格

講義名	考現学・保存修景論特別研究							担当教員	専攻教員 / 石川 慎治 / 濱崎 一志
講義コード	2930060	単位数	0	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	776MAC702								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各担当教員より各回の内容・スケジュールについて説明する。
第2回	考現学・保存修景論特別研究その1	
第3回	考現学・保存修景論特別研究その2	
第4回	考現学・保存修景論特別研究その3	
第5回	考現学・保存修景論特別研究その4	
第6回	考現学・保存修景論特別研究その5	
第7回	考現学・保存修景論特別研究その6	
第8回	考現学・保存修景論特別研究その7	
第9回	考現学・保存修景論特別研究その8	
第10回	考現学・保存修景論特別研究その9	
第11回	考現学・保存修景論特別研究その10	
第12回	考現学・保存修景論特別研究その11	
第13回	考現学・保存修景論特別研究その12	
第14回	考現学・保存修景論特別研究その13	
第15回	考現学・保存修景論特別研究その14	
第16回	考現学・保存修景論特別研究その15	
第17回	考現学・保存修景論特別研究その16	
第18回	考現学・保存修景論特別研究その17	
第19回	考現学・保存修景論特別研究その18	
第20回	考現学・保存修景論特別研究その19	
第21回	考現学・保存修景論特別研究その20	
第22回	考現学・保存修景論特別研究その21	
第23回	考現学・保存修景論特別研究その22	
第24回	考現学・保存修景論特別研究その23	
第25回	考現学・保存修景論特別研究その24	
第26回	考現学・保存修景論特別研究その25	
第27回	考現学・保存修景論特別研究その26	
第28回	考現学・保存修景論特別研究その27	
第29回	考現学・保存修景論特別研究その28	
第30回	まとめ	まとめ

担当者から一言

講義名	生活デザイン論特別演習							担当教員 専攻教員 / 印南 比呂志 / 面矢 慎介 / 佐々木 一泰 / 藤木 庸介 / 南 政宏 / 宮本 雅子 / 森下 あおい / 山田 歩 / 横田 尚美
講義コード	2930070	単位数	4	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	777LVD701							

授業概要

生活デザイン論のなかでインテリア、住居、都市、地域を含む住環境デザイン、道具デザイン、服飾デザインの各分野において、最新の研究成果である各種文献を読み、紹介し、そして討論し、それらの分野の知見と研究動向を把握させ、研究方法を更に修得させ、問題の所在や新たな研究の方向を洞察する能力を養成する。

到達目標

研究分野に関する知見と研究動向を把握し、研究方法を修得し、問題の所在や新たな研究の方向を洞察する能力を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業に対する取り組みや発表内容・討論による

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業内で適宜紹介する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	生活デザイン論特別研究							担当教員 専攻教員 / 印南 比呂志 / 面矢 慎介 / 佐々木 一泰 / 藤木 庸介 / 南 政宏 / 宮本 雅子 / 森下 あおい / 山田 歩 / 横田 尚美
講義コード	2930080	単位数	0	開講期	通年研究	授業種別	研究	
ナンバリング番号	777LVD702							

授業概要

住環境デザイン、道具デザイン、服飾デザインなど生活デザインの各分野並びにこれらの横断的な分野に関するテーマについて、複数の教員によって指導し、その成果を博士論文にまとめさせる。

到達目標

研究分野において、新たな研究の方向を自律的に探求し、独創的かつ専門的な博士論文を作成する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	研究への取り組みや研究成果による

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業内で適宜紹介する

前提学力等

履修資格

講義名	健康栄養論特別演習							担当教員	専攻教員 / 今井 絵理 / 遠藤 弘史 / 奥村 万寿美 / 佐野 光枝 / 中井 直也 / 東田 一彦 / 廣瀬 潤子 / 福渡 努 / 森 紀之 / 矢野 仁康
講義コード	2930090	単位数	4	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	777NUT701								

授業概要

健康栄養論に関する知見の進歩・国際比較を考慮に入れて、最新の研究論文・総説を紹介させ、質問と討論を行う。

到達目標

研究分野に関する知見から研究動向を把握し、また研究方法を修得することによって、問題の所在、研究の方向性を洞察できる能力を身につけることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	担当教員が、中間発表及び研究分野における最新知見（研究論文・総説など）を紹介するプレゼンテーション内容から評価を行う

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	健康栄養論特別研究							担当教員 専攻教員 / 今井 絵理 / 遠藤 弘史 / 奥村 万寿美 / 佐野 光枝 / 中井 直也 / 東田 一彦 / 廣瀬 潤子 / 福渡 努 / 森 紀之 / 矢野 仁康
講義コード	2930100	単位数	0	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	777NUT702							

授業概要

各自の研究テーマに応じて研究を遂行し、博士研究論文の作成を目指す。

到達目標

博士研究論文を作成することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	研究の進捗状況に応じて担当教員が評価を行う

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	人間関係論特別演習							担当教員	専攻教員 / 上野 有理 / 大野 光明 / 木村 裕 / 後藤 崇志 / 杉浦 由香里 / 中村 好孝 / 原 未来 / 細馬 宏通 / 松嶋 秀明 / 丸山 真央
講義コード	2930110	単位数	4	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	777HRS720								

授業概要

心理学、社会学、教育学など人間関係論に関わる諸分野において、最新の研究成果である各種文献を読み、討論する。これにより、諸分野の知見や研究方法を習得させ、問題の所在や新たな研究の方向を洞察する能力を養成する。

到達目標

研究分野に関する知見と研究方法を習得し、問題の所在や新たな研究の方向を洞察する能力を養成する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業に対する取組や発表内容、討論等を総合して評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜指定する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜指定する。

前提学力等

履修資格

講義名	人間関係論特別研究							担当教員	専攻教員 / 上野 有理 / 大野 光明 / 木村 裕 / 後藤 崇志 / 杉浦 由香里 / 中村 好孝 / 原 未来 / 細馬 宏通 / 松嶋 秀明 / 丸山 真央
講義コード	2930120	単位数	0	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	777HRS721								

授業概要

心理学、社会学、教育学など人間関係論に関わる諸分野、ならびにこれらの分野を横断的に扱う固有のテーマを選定し、研究をおこないその成果を博士論文にまとめさせる。

到達目標

関連の研究分野において、新たな研究の方向を自律的に探究し、独創的かつ専門的な博士論文を作成する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	研究への取組や研究成果を総合して評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜指定する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜指定する。

前提学力等

履修資格

講義名	研究方法特論							担当教員	専攻教員 / 市川 秀之 / 水野 章二 / 森下 あおい
講義コード	2930130	単位数	2	開講期	通年集中	授業種別	演習		
ナンバリング番号	777HCL701								

授業概要

学生が幅広い視野の元に研究を進めていけるよう、関連する研究領域の研究方法について、主たる指導教員以外からも指導を受けられる機会をつくる。学生は研究テーマの追求にあたって、それに関連する領域を担当する複数の教員（主たる指導教員以外の教員）の研究室を訪問し、研究テーマ、研究方法、研究倫理、そのほか研究者として必要な技法や理論的知識について個別指導を受ける。

到達目標

(1) 複数教員からの指導をもとに研究テーマを追求し、幅広い視野を身に付けることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	主指導教員と訪問先研究室教員との合議による合否判定

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	リサーチ・ワークショップ							担当教員	専攻教員 / 市川 秀之 / 水野 章二 / 森下 あおい
講義コード	2930140	単位数	2	開講期	通年集中	授業種別	演習		
ナンバリング番号	777HCL702								

授業概要

学生の研究を個々の専門分野の垣根を越えて組織的、多面的に指導・支援するために、履修者全員と担当教員全員が出席するワークショップを年2回ほど開催する。履修者は事前に報告要旨を提出し、その上で自らの研究計画・研究報告を発表し、質疑を受ける。ワークショップ終了後、質疑応答の結果を踏まえて改善した研究計画書および論文執筆計画書をまとめる。

到達目標

(1)自身の研究を多面的にとらえ、研究の遂行と論文執筆に取組むための能力を身につけることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	ワークショップ参加教員による合議で合否を判定する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

